

第2編 全市的共同研究

【目次】

第1章	教育水準向上研究授業研究会	19
第2章	沼田市夏季研修会	24
第3章	沼田市小中学校教育研究会	
I	沼田市小中学校教育研究会会則	26
II	沼田市小中学校教育研究会細則	26
III	沼田市小中学校教育研究体制	27
IV	令和5年度沼田市小中学校教育研究会役員一覧	28
V	部会報告・各教科等研究部事業経過の概要	30
第4章	沼田市独自施策・指定研究の展開	
I	「がん教育総合支援事業」(薄根小学校)	53
II	「がん教育総合支援事業」(薄根中学校)	55
III	「各教科等授業改善プロジェクト」(沼田小学校)	57
IV	「各教科等授業改善プロジェクト」(沼田南中学校)	59

第 1 章 教育水準向上研究授業研究会

1 趣 旨

沼田市の教育水準向上を図るために授業研究会を開催し、その現状と課題を正しくとらえ、望ましい授業の在り方を研究する。

2 日 時 令和5年11月16日(木) 13:50～16:40

3 会 場 沼田市立沼田北小学校・沼田市立沼田南中学校

4 授業者及び単元・題材名等一覧

	年・組	指 導 者	教科等	単元等
沼田北小	1年2組	小林 拓美	算数	ひきざん
	4年1組	白岩 良子	音楽	いろいろな音のひびきを感じ取ろう
	5年1組	藤井 剛史	国語	固有種が教えてくれること
	わかば	角田 泉	自立活動	楽しかったことを伝え合おう
沼田南中	1年1組	藤倉 寛明	数学	5章 平面図形
	2年2組	角田 人基	国語	平家物語 敦盛の最期
	2年1組	男沢 紗代	美術	枕元に置くランプを作ろう

5 授業研究会の係・役員

	部会	司 会 者	記 録 係	助 言 者
沼田北小	1年算数	角田 淑子 教諭	真庭 秀樹 教諭	金子 平 指導主事
	4年音楽	荒木 麻弥 教諭	内田 明子 教諭	富澤 誠司 指導主事
	5年国語	深津 美帆 教諭	星野 理恵子 教諭	田島 晃代 指導主事
	わかば自立	小尾 浩三 教諭	林 昭恵 教諭	中島 康男 指導主事

沼田南中	1年 数学	松井 恒俊 教諭	綿貫 諒太 教諭	星野 優太 指導主事
	2年 国語	大関 孝行 教諭	林 洋子 教諭	青木 理恵 指導主事
	2年 美術	内田 淳 教諭	治田 千晶 教諭	角田 厚 管理主事兼指導主事

6 授業研究会の概要

※○は研究協議の概要、◎は指導講評の概要

学年 教科等	研究協議及び指導講評の概要
沼田北小 小1年 算数	<p>○見通しをもたせる場面にて、「残り」という言葉に着目させて、ひき算になることや、答えが大体どれくらいになることを、全体で把握させたことは、考える活動を進める上で有効であった。</p> <p>○自力解決させる前に、ブロック操作や丸、式など、解決方法を児童に選ばせたことは、児童が取り組みやすくなるとともに、主体的な学びにつながる工夫になった。</p> <p>○提出箱の子どもの考えを早めに共有できるようにすると、考えるのが難しい子どもに考えを導き出させやすいことが可能となることが感じられた。</p> <p>○まとめにおいて、「よさ」を考えさせたことは難しかったが、発問を変えたら減加法のよさにつながる発言が現れた。また、子どもから10のまとまりをつくって計算するとよい意見も出た。よって、本時の授業は児童の考えが深まったことにつながった。</p> <p>◎子どもが集中して取り組み、たくさんの意見も出た。このことは日々の指導の賜である。</p> <p>◎教科書は減加法が有効であることに気づくように導いているが、単元全体を見通した上で、減減法も認められるような指導内容にした。このことは、児童が深い学びができるようにしたものである。そして今後、繰り返し下がりひき算を学習するときに、減加法のよさに気づけることを狙っている。</p>
小4年 音楽	<p>○導入で、歌で始めることにより、声を出し気持ちをそろえることに繋がった。歌が大好きという気持ちを大切にし、エネルギーを生かして学びに向かわせる工夫であった。</p>

	<p>○音の重なり方が、タブレットを使ったことにより視覚的によくわかった。組み合わせを考える際にも、カードを自由に動かせるので音楽作りに取り組みやすそうだった。</p> <p>○提出されたものを比較する場面では、代表のグループの楽譜を大型モニターで共有することで、自分のグループのリズムと比べながら考えている様子がうかがえた。大切なポイントが児童の発言から出るように、やり取りを通して先生がうまく誘導していた。</p> <p>◎めあての提示へのこだわりが感じられた。児童の言葉を拾いながら手書きで板書することは、主体的に取り組む態度を育む一つの方法である。3人のグループにして取り組ませることで対話が必要になる状況作りができていた。</p> <p>◎児童への振り返りのときに、どれを意識して取り組んだ？などと聞く、あるいは、始める前にどれを意識して取り組もうか、と聞いてみるなどするとよい。</p> <p>◎音楽の教科書の構成上、学習指導要領で示された内容の多くが一つの題材に盛り込まれることがあるが、その全てを一つの題材で網羅し評価するのは難しい。今回の指導案のように、その題材で重点とする内容を焦点化し、年間を見通して分散できないか考えたい。</p>
<p>小5年 国語</p>	<p>○児童が主体的に学習に取り組める手立てとして、学習の見通しをもたせる単元のゴールを示すめあての掲示や児童が自分たちで考えたキーワードカードの活用、あたたかい言葉がけによる発言しやすい雰囲気作りなどができていた。</p> <p>○資料選択の理由を複数児童に発言させたり、少数意見をとりあげ選択の理由について揺さぶりをかけたりすることで、多面的・多角的に理由付けできていた。</p> <p>○発問や意図的指名の工夫があり、全体への問いかけや対話を通して資料の役割と効果について考えることができていた。また、意見交流の中で、友達と自分の意見を比較して見直し、自分の資料選択を変更する児童もおり、考えの深まりが見られた。</p> <p>◎目的に合った資料を用いて意見文を書くために、単元を通してどこからきてどこに向かっていくのか見通しをもって学習を進められている。資料選択の際に順位付けや比較、理由付けをさせることは、改めて資料の効果や価値を考えることができた。</p> <p>◎資料のよさについての主観的な考えが、話し合いをすることで筆者の主張につながる客観性をもつものになる。教師がファシリテーターとなり意図的な指名や問い返しをしながら全体で意見を交流したが、「隣の人と話してみて」があれば、子ども同士の交流もあったのではないか。</p>

	<p>◎児童の実態として定期的に新聞記事を読む活動を取り入れることは、読解力の向上につながっていく。本時の授業の後では、資料の汎用性や一般化につながっていく。</p>
わかば 自立活動	<p>○個人が自己決定したためめあてが個々の机上に視覚的に提示されていたため、児童は常にめあてを意識し、見通しをもちながら、主体的に授業に取り組むことができていた。</p> <p>○授業者の受容的、共感的な言葉かけや賞賛により、温かい雰囲気の中、児童が安心して自信をもって自分の言葉で発表することができていた。満足した児童の様子が印象的だった。</p> <p>○児童の実態に応じた振り返りカードの使用（花丸、二重丸、丸の三段階）で、児童が充実感や達成感を得ることができていた。</p> <p>◎細やかに児童の様子や活動を見取り、学ぶ意欲を高める賞賛を行い、頑張りを価値付けすることで児童の自己肯定感を高め、主体的な活動に結びついていた。</p> <p>◎相手意識をもたせるめあての設定がすばらしかった。子どもたちは表情や言葉でわかりやすく伝えることができていた。</p> <p>◎めあてを意識する手立てが工夫されていた。めあてに向けて活動する授業中の子どもたちへの声かけや問い返しで、子どもたちが、振り返りでの達成感を実感できていた。</p>
沼田南中 1年 数学	<p>○ICT活用について動画で作図の手順を蓄積していたことが有効であった。課題に取り組むなかで必要な動画を自分で選択して確認できること、生徒の能力や到達度に応じて「見る」、「見ない」の選択できることもよかった。</p> <p>○ICT活用について写真等のデータをスムーズに送付できるよさを利用してヒントや手掛かりを提示していたことが有効であった。作図する場面においてどの作図方法を利用するのか悩んでいる生徒に対して気づきを促していた。</p> <p>○ICTを利用することを目的とせず、黒板等の今まで利用してきたもののよさを生かしていきたい。黒板や掲示した資料などと組み合わせることでより効果的な指導方法を考えていきたい。</p> <p>◎課題の設定がよかった。生徒の話合いの活発化や、意欲の向上には適切かつ興味を引く課題の設定が重要。</p> <p>◎まとめで深め合う部分が重要。生徒の実態や発問に対する答えを教材研究時に検討し、練っておくことが必要である。</p>
中2年 国語	<p>○ICTの効果的な活用については、叙述に即した動画やシンキングツール、共有ノートを活用した話合いなどが、生徒の考えを深める手</p>

	<p>立てとして有効であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学び合いの場の工夫として、個別の考えを ICT を使用してまとめ、グループでの協働的な話し合いを通して深め、大型モニターでの全体での共有をするという流れが生徒の学びを助けていた。 ○他のグループの友だちの考えを聞いて、もう一度自分の考えに立ち戻り、考えを深めている姿が見られた。教師の補助発問が思考を深めるのに有効だった。 ◎生徒の考えをすくいあげての課題設定、必要感のある言語活動など、生徒の読む力を高めるための単元構想が素晴らしかった。 ◎個別の学習から協働的な学び、そして個へ立ち返るといった学びのサイクルが確立された授業であり、考えを深める手立てとして有効であった。 ◎生徒の考えを共有する振り返りの場面では、生徒の発言や問いに対する答えとなる叙述を、教師はあらかじめ検討し、考えておくことが大切である。
<p>中 2 年 美術</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○光の空間を追求するために暗室を作ったり、様々な素材の材料を準備したりと本時のめあてに沿った学習環境が揃っていたことで、生徒が主体的に活動できた。 ○グループによる学び合いの場を作ったことで、様々な視点で考えることができた。 ○ ICT を活用し、自分にとっての心地よい空間を写真に撮影したことは、前時からの改善点を探る上で有効だった。一方、クロームブックの画素数には限界があるため、目で見た美しさが写真では十分伝わらなかった。 ◎学習の場の設定が良かった。準備等に時間と労力がかかるが、準備が十分できていたからこそ生徒が活動できた。 ◎対話的な活動をするときは、生徒自身が話し合いをしたくなるような必要感のある活動の場を作ってほしい。今回の授業は、自分の空間についてだけでなく、友達の改善点を見つけてあげるといったやり方が良かった。 ◎ ICT を活用するときは、ねらいの達成のために効果的に ICT が使われているのか確認をすることが大切である。

第2章 沼田市夏季研修会

1 趣旨

社会が大きく変化の中で、「令和の日本型学校教育」を担う教師及び教職員集団には、変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて「学び続ける」ことが求められている。

本研修会では、第12次沼田市教育水準向上研究の研究主題達成に向け、教職員の資質・能力の向上を期し、群馬県の学校教育を牽引する3名のリーダー及び市内小中学校で頑張る3名によるパネルディスカッションをとおして、「学び続ける教職員」「憧れる先生」「一緒に働きたい仲間」等の観点から、教員の新たな学びの姿を展望した。

○教育行政方針【重点施策】との関連 1 (4) 確かな学力の育成 ウ、エ
○第12次沼田市教育水準向上研究との関連
「社会の変化に主体的に関わり、未来社会を切り拓く力を身に付けた子どもの育成」

2 主催 沼田市教育委員会

3 日時 令和5年7月24日(月) 14:30～16:30

4 会場 テラス沼田 5階 議場

5 参加者

パネリスト：群馬県教育委員会 教育次長 栗本 郁夫 様
群馬県総合教育センター 所長 古市 功 様
利根教育事務所長 角田 義行 様
沼田市立沼田北小学校 教諭 小林 拓美
沼田市立沼田中学校 教諭 須藤 陽介
沼田市立白沢中学校 教諭 今山 志乃

司会進行：沼田市教育委員会 学校教育長 林 武史

参観者：校長・教頭・教諭・養護教諭

テーマ 「令和の日本型学校教育」を担う『学び続ける教職員』であるために

6 実施方法

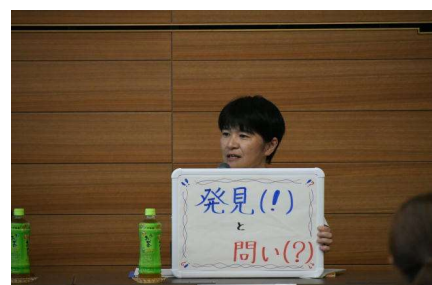
集合研修(各学校2～3名選出)+オンライン研修の「ハイブリッド研修」

7 当日資料

群馬県教員育成指標 (群馬県教育委員会)【資料1】

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(中教審答申概要)【資料2】

「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について
(中教審答申概要) (文部科学省 R4.12.19)



沼田市夏季研修会 概要

研修会（パネルディスカッション）の内容

1 「学び続ける教職員」とは

パネリストの自己紹介と「学び続ける教職員」について

栗本 郁夫	教育次長	「真似る アレンジする 自分のものにする」
古市 功	センター所長	「変化に挑む「変える」「変わる」を楽しむ姿勢」
角田 義行	所長	「傾聴・自律する力」
小林 拓美	教諭	「発見（!）と問い（?）」
須藤 陽介	教諭	「探究心 前向き」
今山 志乃	教諭	「伴奏者 一緒に学び・走る」

2 群馬県が求める教職員

- ・「群馬県が求める教員像」、「群馬県教員育成指標」について（資料1） 【角田管理主事より】
- ・小林・須藤・栗原、3名の教諭のステージ（キャリア段階）の確認と、栗本教育次長から群馬県教員育成指標を意識した資質・能力の向上について

3 令和の日本型学校教育を担う教職員 「令和の日本型学校教育を担う教師(資料2)」

- ・「令和の日本型学校教育を担う教師」を目指して、取り組んでいること・努力していること
- ・小林・須藤・栗原、3名の教諭の発表と、古市センター所長から、働きながら学ぶことにコツ、ヒントについて

4 「一緒に働きたい先生(尊敬される先生)」とは

- ・栗本教育次長、古市センター所長、角田所長の3人による鼎談
どのように学んでいたか、どんな先生方に会ったか
理想とする「教職員」「教職員集団」とは ⇒教職員集団が「学び合う」ことが大切

5 各校（オンライン）、会場からの質疑応答

- ・常に学びたいという気持ちはあるが、現実には日々の業務に追われて時間がない。どのように理想と現実の差を埋めていったらいいか。
- ・変化の多い現代社会の中、未来を担う子供たちにかかわる教職員として、今後、どのようなことを学んでいったらいいか、等。

6 「学び続ける教師」へのメッセージ(励まし)・宣言

- ・3名の教諭から意気込みを、栗本教育次長、古市センター所長、角田所長から、今後の教育の充実に向けて、そして未来を担う子供たちを育てる教員へ向けてメッセージをいただいた。



第3章 沼田市小中学校教育研究会

I 沼田市小中学校教育研究会会則

- 1 本会は沼田市小中学校教育研究会と称する。
- 2 本会は沼田市小中学校教育の進展を図るため各教科別研究部の事業の連絡調整を行うことを目的とする。
- 3 本会は沼田市小中学校各教科別研究部の部員で組織する。
- 4 本会に下記の役員を置く。

会 長	沼田市小中学校協議会長がこれにあたる。
副 会 長	} 研究部長会議で選任する。
庶 務	
会 計	
- 5 各研究部会の事業及び連絡調整に必要な細則は別に定める。
- 6 本部は沼田小学校に置く。

II 沼田市小中学校教育研究会細則

- 1 各研究部は毎年度始めにおいて本会より予算の配当を受けて事業の計画執行を行うものとする。
- 2 予算配当は各研究部に対し通常研究予算の外特別指定の研究部に対しては重点的研究予算を加配するものとする。
- 3 各研究部が事業を執行する場合は、日時等につきあらかじめ本会の承認を得るものとする。
- 4 各研究部会は毎年度始めの総会后、毎年度決算書及び本年度事業及び予算書をすみやかに本会に提出するものとする。
- 5 各研究部の研究活動は下記の基準によるものとする。

(1) 全員研修

- 午後研修 年3回
- 体操講習
- 遊技講習 夏休み

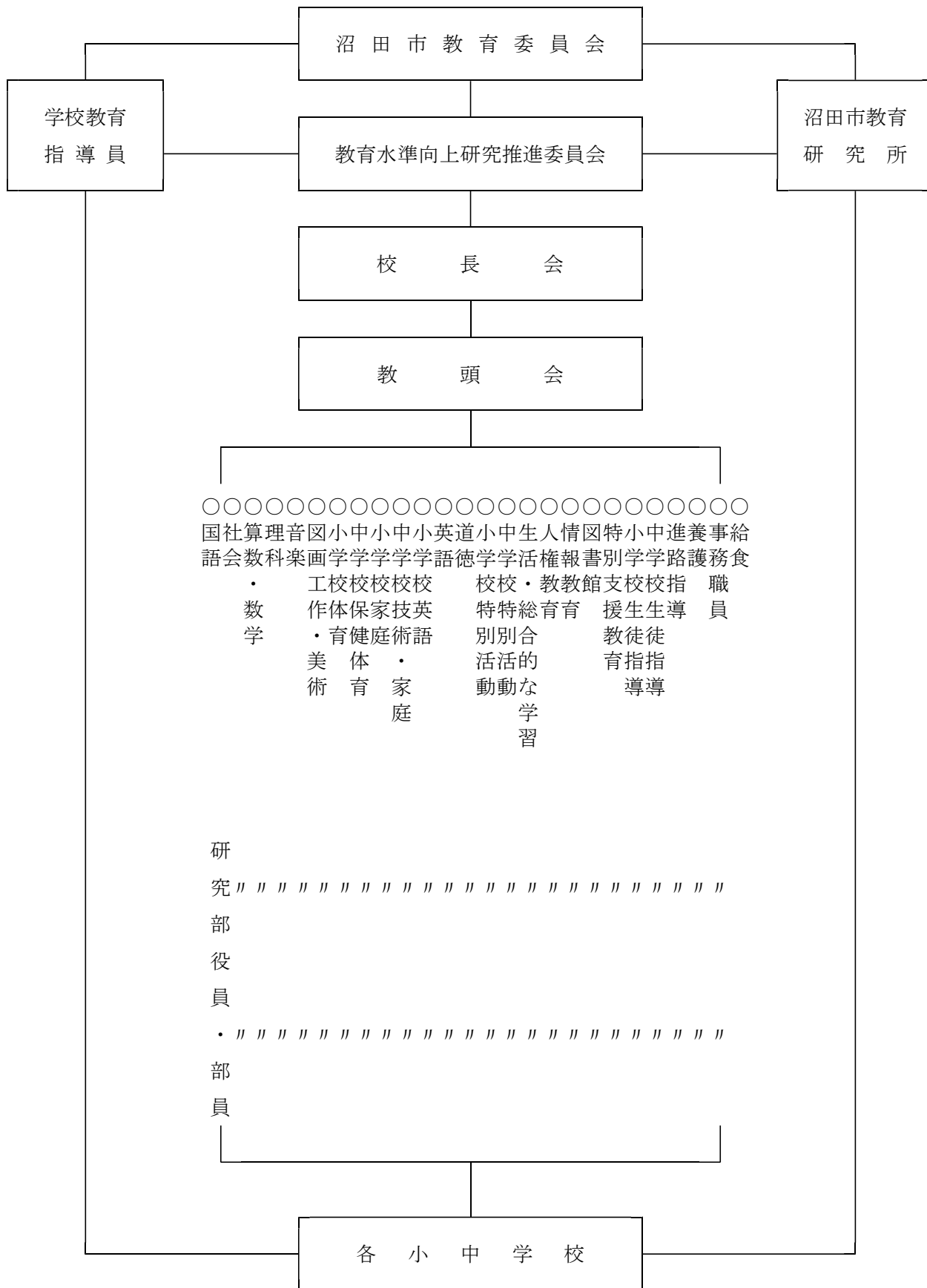
(2) 部 会

- 部 総 会 年1回 午後1:30
- 役員総会 年3回 午後2:00
- 講習会・研修会 年3回以内
- 授業研究会（子どもを動かすこと）
 - ・原則として行わない。但し特に必要がある場合は部長会議で審議の上決定するものとする。

○特別指定部は別途考慮する。

○夏休みの行事及び土・日は特枠とする。

Ⅲ 沼田市小中学校教育研究体制



IV 令和5年度 沼田市小中学校教育研究会役員一覧

部会名	部 長		副 部 長		書 記 ・ 会 計		監 査		県 理 事 等			
国 語	大竹 敏之	利南東小	松井 秀幸	薄根中	書 会	関 真美	利南東小	見城 朋子	沼東小	県理 県理 県理	大竹 敏之 松井 秀幸 中里 美穂 櫻井 陽希	利南東小 薄根中 利根小 沼田中
社 会	小野里慶博	沼北小	中島 潔	沼西中	書 会	真庭 秀樹	沼北小	井上 初枝	沼東小	県理 県理 県理 県研 県研	小野里慶博 中島 潔 倉澤 泰子 小林 寿雄 真庭 秀樹 河田 志穂	沼北小 沼西中 沼田小 池田中 沼田小 利南東小
算 数 ・ 数 学	吉田 広幸	利根小	富田 孝	沼田中	書	丸山みのり	利根小	富永 隼哉	白沢小	県理 県理 県理 県研 県研	吉田 広幸 見城美津子 富田 孝 藤倉 寛明 大河原真奈美 鈴木 英樹	利根小 川田小 沼田中 沼南中 多那小 沼田中
					会	生方裕一郎	沼田中					
理 科	佐々木 孝	沼東中	内藤 麗子	川田小	書 会	篠澤 敦子	沼東中	亀山 秀治 阿部万里子	利根小 池田中	県理 県理 県理 県理	内藤 麗子 佐々木 孝 亀山 秀治 阿部万里子	川田小 沼東中 利根小 池田中
音 楽	内藤 麗子	川田小	金井 綾子	池田中	書	星野美由紀 渡貫 文子	沼田小 多那小	新井 智子	沼西中	県理 県理 県理 群響 群響	内藤 麗子 佐々木典子 鈴木 香穂 内藤 麗子 竹内香那子	川田小 沼東小 池田中 川田小 薄根中
					会	渡根木星花	川田小					
図画工作 ・ 美 術	金井 綾子	池田中	小野里慶博	沼北小	書 会	鈴木 香穂	池田中	内田 明子 男沢 紗代	沼北小 沼南中	県理 県理 県評 県評	金井 綾子 小野里慶博 井田さやか 福島 栄典	池田中 沼北小 池田中 沼田中
小学校 体 育	菅原 慶成	薄根小	倉品 健	升形小	書 会	森山 有紗	薄根小	吉野 泰弘	白沢小	県理 県陸 県水 県情 県研	菅原 慶成 石田 真規 藤井 祐聖 吉澤 早紀 星野 利彰	薄根小 利根小 沼東小 升形小 川田小
中学校 保健体育	田村 学	利根中	吉野 智彰 星野 颯	沼西中 沼東中	書 会	井上 幸大	利根中	松井 秀幸	薄根中	県理 県理	田村 学 綿貫 諒太	利根中 沼南中
小学校 家 庭	永島 芳信	沼田小	萩原 瑠奈	沼田小	書 会	萩原 瑠奈	沼田小	阿部 貞治	川田小	県理 県理	永島 芳信 萩原 瑠奈	沼田小 沼田小
中学校 技術・ 家 庭	宮田 好子	多那中	下飯 英樹 小林美緒奈	薄根中 沼南中	書	中島美保子	薄根中			県理 県幹 県幹	宮田 好子 井上 治男 中島美保子	多那中 沼西中 薄根中
小学校 英 語	渡辺 元子	池田小	栗原 智恵	沼東小	書 会	小田橋美玖	池田小	内田 明子	沼北小	県理 県理	渡辺 元子 栗原 智恵	池田小 沼東小
英 語	宮田 好子	多那中	渡辺 元子	池田小	書 会	高山 誠	多那中	須藤 陽介	沼田中	県理 県理 県研	宮田 好子 高山 誠 高山 誠	多那中 多那中 多那中

部会名	部 長		副 部 長		書 記 ・ 会 計		監 査		県 理 事 等			
道 徳	田村 学	利根中	下田 一貴	白沢小	書 会	横坂 真優	利根中	星野 智子	多那小	県理 県理 県理 県研	田村 学 下田 一貴 小嶋 博子 小嶋 博子	利根中 白沢小 沼南中 沼南中
小学校 特別活動	阿部かおる	升形小	吉野 幸恵	利南東小	書 会	登坂 厚子	升形小	後藤 千穂	沼田小	県理 県理	阿部かおる 阿部 政志	升形小 薄根小
中学校 特別活動	根岸 浩文	沼南中	齋藤 広大	白沢中	書 会	治田 千晶	沼南中	佐鳥 悠平	利根中	県理 県理	根岸 浩文 治田 千晶	沼南中 沼南中
生 活 ・ 総合 的な学習	中島 潔	沼西中	登坂 一彦	沼東小	書 会	岩崎 雅大	沼西中	土井 智穂	沼東小	県理 県理 県理 県理	登坂 一彦 中島 潔 土井 智穂 小幡 儀見	沼東小 沼西中 沼東小 沼東中
人 権 教 育	金井 綾子	池田中	永島 芳信	沼田小	書 会	小林 寿雄	池田中			県理 県理 県理 県理	永島 芳信 金井 綾子 萩原 瑠奈 小林 寿雄	沼田小 池田中 沼田小 池田中
情 報 教 育	三俣 利明	白沢中	吉田 広幸	利根小	書 会	林 徹志	白沢中	富永 隼哉	白沢小	県理 県理	三俣 利明 渡辺 訓史	白沢中 利根小
図書館	阿部かおる	升形小	三俣 利明	白沢中	書 会	青木 和成	升形小	大関 孝行	沼南中	県審 県審 県審 図委 図委	小野 露葉 森下 好美 千明 春香 内田 明子 登坂 俊介	利南東小 池田小 多那中 沼北小 沼東中
特別支 援教育	下田 一貴	白沢小	根岸 浩文	沼南中	書 会	吉野 泰広 見城麻桜香	白沢小 白沢小	山田 哲也	多那中	県理 県理	下田 一貴 根岸 浩文	白沢小 沼南中
小学校 生徒指導	吉田 広幸	利根小								県理 県理	吉田 広幸 石田 真規	利根小 利根小
中学校 生徒指導	佐々木 孝	沼東中								県理 県理	佐々木 孝 登坂 俊介	沼東中 沼東中
進 路 指 導	松井 秀幸	薄根中			書 会	原 新	薄根中			県理 県理	松井 秀幸 原 新	薄根中 薄根中
養 護	根岸 浩文	沼南中	渡辺 元子 角田美由紀 真船由美子	池田小 池田小 沼田中	書 会	井上佳月子 本郷 郁香	多那中 升形小					
事 務 員	大竹 敏之	利南東小	富田 孝 星野 一枝	沼田中 利根小	書 会	星野 恵美 保坂 歩	多那中 沼東中	戸丸 慶子 松本あゆみ	薄根小 池田中			
給 食	内藤 麗子	川田小	根岸 浩文 中條 恭子 櫛渕 窓	沼南中 利南東小 沼東中	書	桑原 由佳	川田小			県理 県理	内藤 麗子 根岸 浩文	川田小 沼南中

V 部会報告・各教科等研究部事業経過の概要

1 国語部会

(1) 研究部総会 ※令和元年度より紙上開催

①令和4年度事業報告並びに会計報告

②令和5年度役員選出

部長 大竹 敏之 (利南東小)

副部長 松井 秀幸 (薄根中)

書記・会計 関 真美 (利南東小)

会計監査 見城 朋子 (沼東小)

県理事(校長) 大竹 敏之 (利南東小)

松井 秀幸 (薄根中)

(教諭) 中里 美穂 (利根小)

櫻井 陽希 (沼田中)

③令和5年度事業計画・予算の審議

ア 県研究部総会

イ 県研究部事業への参加

・小国研夏季研修会(平成30年度から廃止)

・中国研夏季研修会(平成29年度から廃止)

ウ 市内児童生徒図工美術書写作品展の開催

授業者 神庭 美和 教諭

3年「漢字の広場④二年で学んだ漢字」

授業者 森 淳一 教諭

6年「説得力のある文章を書こう～自分の考えを発信しよう」

授業者 須田 恵美 教諭

講演会

演題「本物の力を付ける授業のあり方」

講師 群馬大学共同教育学部

准教授 河内 昭浩 先生

(4) 群中国研 夏期研修会 (ハイブリット開催)

8月18日(月) 国語とICTの研究会

(5) 第66回関東地区中学校国語研究協議会 埼玉大会

11月17日(金) 第5分科会提案 知識技能1(情報の扱いに関する事項)

発表者 見城 由昭 教諭(昭和村立昭和中学校)

単元名 2年『資料や機器を活用して効果的に発表する「プレゼンテーション」』

・群中国研地区別授業研究会(藤岡・多野地区)

(2) 県理事会

①群小国研定期理事総会

5月31日(水) (紙面開催)

・令和5年度理事一覧名簿

・令和5年度収支予算書

・令和5年度事業計画案

・研究協議会・役員担当地区<ローテーション>

②群中国研定期理事総会

5月31日(水) (対面・オンラインのハイブリット開催)

・令和4年度事業報告・会計報告

・令和5年度本部役員選出

・令和5年度事業計画・予算審議

・今後の流れについて<ローテーション票>他

(6) 利根郡沼田市合同国語研究会講演会

・令和4年度から廃止(令和2・3年度は計画したが中止となった)

(7) 沼田市小中学生図工・美術、書写展

①合同役員・主任会 9月28日(水) 池田中

②展示会場 テラス沼田1F多目的ホール

③11月15日(水) 作品搬入 15:00～

④11月24日(金) 作品搬出 15:30～

(8) 沼田市教育水準向上研究授業研究会

11月16日(木) 沼田北小学校

5年 単元名「固有種が教えてくれること」

授業者 藤井 剛史 教諭

(3) 群小国研研究協議会

11月21日(火) 太田市立鳥之郷小学校

授業公開

1年「こころぼかぼか手がみをかこう」

(9) 第2回県理事総会

①群小国研年度末総会(オンライン)

②群中国研定期理事総会(2月ハイブリット開催)

令和5年度事業報告、会計報告

2 社会部会

司会：池田小 星野 竹志 教諭

(1) 研究部総会

○令和5年4月 紙面開催

①令和4年度事業報告及び会計報告と承認

②令和5年度の役員選出

部 長 小野里慶博（沼田北小学校）

副 部 長 中島 潔 （沼田西中学校）

書記会計 真庭 秀樹（沼田北小学校）

会計監査 井上 初枝（沼田東小学校）

県 理 事（評議員）

（校 長） 小野里慶博（沼田北小学校）

中島 潔 （沼田西中学校）

（教 諭） 倉澤 泰子（沼田小学校）

小林 寿雄（池田中学校）

小社研県研究推進委員（令和5～7年度）

（教 諭） 真庭 秀樹（沼田小学校）

河田 志穂（利南東小学校）

③令和5年度事業計画・予算審議

(2) 小学校社会科研究会関係事業報告

①県小社研本部役員会

・令和5年5月16日（火）メール資料送付

・令和5年度役員選出

・令和4年度事業報告

・令和5年度事業計画

・令和7年度小社研群馬大会に向けて 等

②県小学校社会科授業研究大会

・令和5年10月26日（木）

・沼田市立薄根小学校 高宮 昭子 教諭

第3学年「店ではたらく人」

※市内社会主任は道案内・駐車場係として

協力

⑤第50回県小学校社会科研究協議会

・令和6年1月26日（金）高崎市教育センター

・3年部会

提案：沼田小 倉澤 泰子 教諭

「はたらく人とわたしたちの暮らし

農業の仕事」

(3) 中学校社会科研究会関係事業報告

①第1回県中社研本部役員会

・令和5年6月6日（火）

・オンライン開催

・令和5年度役員・事業計画・予算案

・研究紀要の作成…令和元年度より廃止

②県中社研地区別研究大会（利根郡）

・令和5年11月28日（火）

・昭和村立昭和中学校 静野 一輝 教諭

第2学年 地理的分野「関東地方」

③第2回県中社研本部役員会

・令和6年2月下旬 生涯学習センター

・令和5年度の事業および会計報告

・令和6年度の役員選出について等

* 県中社研理事会は実施されず、本部役員会資料の配付のみ

3 算数・数学部会

(1) 研究部総会（資料配付による）

○令和4年度事業報告・会計報告

○令和5年度役員選出

部長 吉田 広幸（利根小）
副部長 富田 孝（沼田中）
書記・会計 丸山みのり（利根小）
生方裕一郎（沼田中）
会計監査 富永 隼哉（白沢小）
同 小林 勇太（沼田西中）
県理事(小) 吉田 広幸（利根小）
同 見城美津子（川田小）
県理事(中) 富田 孝（沼田中）
同 藤倉 寛明（沼田南中）
研修員(小) 大河原真奈美（多那小）
研究員(中) 鈴木 英樹（沼田中）

○令和5年度事業予定

- ・郡市合同研修会
- ・関東、県算数・数学研究会への参加
- ・群馬県数学教育研究会総会
- ・授業公開への参加

(2) 県小学校算数部会

①理事総会（紙面開催）

○令和5年7月

- ・令和4年度事業報告・会計報告
- ・令和5年度本部役員選出
- ・令和5年度事業計画・予算案審議
- ・令和5年度研修員集会について

②研究大会

※令和5年度から廃止

③研修員集会

※令和5年度から廃止

(3) 県中学校数学部会

①理事総会（オンライン開催）

○第1回理事総会

- ・令和5年6月16日（金）
- ・令和4年度事業報告・会計報告
- ・令和5年度事業計画・予算計画
- ・令和5年度役員等の確認

・令和5年関プロ神奈川大会について

・令和5年度の研究について

②研究員による研究

○研究主題

「主体的・対話的で深い学びの実現
～これからの社会を創造する数学的に考える
資質・能力の育成～」

○研究中間発表会

- ・令和5年9月26日（火）
- ・研究発表（沼田中 鈴木英樹教諭）

○研究大会（オンライン開催）

- ・令和5年11月30日（木）
- ・研究発表（各地区研究員）
- ・講話

「群馬の数学教育の現状と今後の方向性」

群馬県教育委員会義務教育課

浦野 正 指導主事

(4) 群馬県数学教育研究会総会

○令和5年度 7月紙上開催

(5) 第78回関東甲信静数学教育研究神奈川大会

○令和5年11月2日（木）

横浜市立港南台第二小学校

○研究主題

「主体的・対話的で深い学びの実現」
～これからの社会を創造する数学的に考える
資質・能力の育成～」

○小学校部会・分科会発表

学習指導法③ 大河原真奈美 先生(多那小)
ICTの活用① 戸部 亜由美 先生(沼田小)
ICTの活用② 阿部 貞治 先生(川田小)

(6) 利根沼田算数・数学合同研修会

○令和5年12月7日（木） 沼田中学校

・講師：宇都宮大学共同教育学部

教授 牧野 智彦 先生

・演題：「数学的な見方・考え方を豊かに
する算数・数学科の授業の創造」

・郡市小・中学校から35名参加

※令和5年度をもって廃止

4 理科部会

(1) 沼田市小・中学校理科部会

- ① 期 日 令和5年4月
- ② 会 場 紙面開催
- ③ 内 容
 - ア 令和4年度事業・決算報告と承認
 - イ 令和5年度役員選出
 - 部 長 佐々木 孝 (沼東中)
 - 副部長 内藤 麗子 (川田小)
 - 書 記 篠澤 敦子 (沼東中)
 - 会 計 篠澤 敦子 (沼東中)
 - 会計監査(小) 亀山 秀治 (利根小)
 - 会計監査(中) 阿部万里子 (池田中)
 - 県校長理事(小) 内藤 麗子 (川田小)
 - 県校長理事(中) 佐々木 孝 (沼東中)
 - 県教諭理事(小) 亀山 秀治 (利根小)
 - 県教諭理事(中) 阿部万里子 (池田中)
- ウ 事業計画

(2) 群馬県理科研究会役員会・研究協議会

- <小学校>
- ① 期 日 令和5年7月12日(水)
 - ② 会 場 オンライン開催
 - ③ 内 容
 - ア 令和4年度活動報告・会計報告
 - イ 令和5年度事業計画・予算案
 - ウ 第71回理科研究発表会について
- <中学校>
- ① 期 日 令和5年5月23日(火)
 - ② 会 場 オンライン開催
 - ③ 内 容
 - ア 令和4年度事業報告・会計報告
 - イ 令和5年度役員・事業計画・予算案審議
 - ウ 令和5年度研究主題・研究推進体制等

(3) 郡市合同理科主任会 (今年度実施せず)

(4) 群馬県小学校理科部会授業研究会

- ① 期 日 令和5年11月1日(水)
- ② 会 場 桐生市立広沢小学校
- ③ 研究発表会
 - 授業者 清水 沙織 (広沢小学校)
「ものの温度と体積」
 - 授業者 梅沢 隆一 (広沢小学校)
「流れる水のはたらき」

【研究主題】

「自然に親しみ、実感しながら学び合い、
問題解決の力を育てる理科学習」
～授業改善推進プランを基にした授業実践を通して～

(5) 群馬県中学校理科部会授業研究会

- ① 期 日 令和5年10月17日(火)
- ② 会 場 高山村立高山中学校
- ③ 研究発表会
 - 授業者 剣持 好司 (高山中学校)
「気象現象がもたらすめぐみと災害」
 - 研究発表者 星野 裕太(みなかみ中学校)

【研究主題】

「見通しをもって学び自分の考えをもとに追求する
理科教育」
～単元の課題をつかみ・解決する過程を通して～

(5) 沼田市教育水準向上研究授業研究会

- ① 期 日 令和5年11月16日(木)
- <小学校> (今年度授業公開なし)
- <中学校> (今年度授業公開なし)

(6) 第71回群馬県理科研究発表会

- ① 期 日 令和5年11月5日(日)
- ② 会 場 群馬大学荒牧キャンパス

5 音楽部会

(1) 総会 <紙面>

①令和5年度役員

部長	内藤 麗子	(川田小)
副部長	金井 綾子	(池田中)
書記	星野美由紀	(沼田小)
	渡貫 文子	(多那小)
会計	渡根木星花	(川田小)
会計監査	新井 智子	(沼西中)
県理事	内藤 麗子	(川田小)
	佐々木典子	(沼東小)
	鈴木 香穂	(池田中)
群響理事	内藤 麗子	(川田小)
	竹内香那子	(薄根中)

②令和5年度事業計画及び予算審議

- ・群響移動音楽教室
- ・沼田市小中学校音楽発表会

(2) 県音協理事総会 <紙面>

- ①令和4年度事業及び決算報告
- ②令和5年度役員選出
- ③令和5年度事業計画及び予算審議
- ④小管研・合唱研
- ⑤県小中学校音楽教育研究大会「太田大会」

(3) 移動音楽教室

期日：7月4日(火)

会場：利根沼田文化会館

①小学校(午前)：プログラムI

- ・「八木節」の主題による楽器紹介曲
- ・スケーターズワルツ
- ・ファランドール 他

※所要時間50分(休憩なし)

②中学校(午後)：プログラムC

- ・デヴィェルティメントK.136第1楽章
- ・「詩人と農夫」序曲
- ・交響詩「我が祖国」からブルダバ 他

※所要時間75分(休憩含む)

(4) 移動音楽教室運営協議会

期日：9月6日(水)

会場：群馬県庁

- ①第15次実施基本計画について
- ②令和5年度実施状況等について
- ③移動音楽教室のプログラムについて

(5) 音楽主任会

期日：9月27日(水)

会場：利根沼田振興局

- ①令和5年度市音楽発表会について
- ②令和6年度移動音楽教室について 等

(6) 沼田市小中学校音楽発表会

期日：11月9日(木)

会場：利根沼田文化会館

①午前の部

沼東小・沼北小・池田小・薄根小
利根小・多那小・沼田中・池田中
薄根中・利根中・多那中

②午後の部

沼田小・升形小・利南東小・川田小
白沢小・沼南中・沼西中・沼東中
白沢中

(7) 群馬県小中学校音楽研究大会「太田大会」

期日：11月16日(木)

大会主題：心ふれあう 豊かなひびき

～学習のゴールを明確にした音楽科授業～

会場校(授業公開)

- ①太田市立沢野小学校(歌唱)
- ②太田市立宝泉東小学校(音楽づくり)
- ③藪塚本町南小学校(鑑賞)
- ④太田中学校(創作)
- ⑤藪塚本町中学校(鑑賞)

※各会場校ごとに、授業研究会

太田市からの提案

- ・市内中学校吹奏楽部の協働運営について

6 図画工作・美術部会

(1) 教育研究会図工美術部会 (C4th)

① 令和5年度役員選出

部長 金井 綾子 (池田中)
副部長 小野里 慶博 (沼田北小)
書記・会計 鈴木 香穂 (池田中)
会計監査 内田 明子 (沼田北小)
会計監査 男沢 紗代 (沼田南中)
県常任理事 金井 綾子 (池田中)
小野里 慶博 (沼田北小)
県評議員 井田 さやか (池田小)
福島 栄典 (沼田中)

② 令和5年度事業計画及び予算審議

- ・群馬県造形美術教育研究会について
- ・郡市合同夏季実技研修会について
- ・群馬県造形美術教育研究会
研究大会への参加について
- ・沼田市小中学校図工美術・書写展について
- ・図工美術・国語部会合同役員会及び主任会について
- ・各種ポスターコンクール審査の協力について
(よい歯のコンクール、選挙ポスターコンクール、
環境ポスターコンクール、読書感想画コンクール、
沼田の風景画コンクール、
東部消防署防火ポスターコンクール)
- ・今年度予算について

(2) 第60回群馬県造形美術教育研究会夏季研修会

<大会テーマ>

「出会い かかわり つながる造形」

- ①期 日 令和5年8月2日 (水)
②会 場 前橋総合福祉会館
③内 容 全体会・分科会

第1分科会<造形活動の基礎基本>

提案者：沼田市立池田小学校

教諭 井田 さやか

提案者：沼田市立沼田南中学校

教諭 男沢 紗代

(3) 令和5年度郡市合同夏季実技研修会

- ①期 日 令和5年8月8日 (火)
②場 所 沼田市立白沢中学校
③講 師 沼田市立白沢中学校
教諭 南雲 優人
④内 容 「主体的・対話的で深い学びを実現
する授業づくり」

(4) 図工美術部会・国語部会合同役員会及び主任会

- ①期 日 令和5年9月28日 (木)
②会 場 沼田市立池田中学校 多目的室
③内 容
第69回国工美術・書写展について
・開催要項について
・作品の搬入と会場準備について
・作品展示配置について

(5) 第69回沼田市小中学校図工美術・書写展

- ①期 日 令和5年11月16日 (木)
～24日 (金)
②会 場 テラス沼田 1F多目的ルーム
③搬 入 令和5年11月15日 (水)
④搬 出 令和5年11月24日 (金)
⑤出品数 小学校図工作品 183点
中学校美術作品 93点
小学校書写作品 180点
中学校書写作品 150点

7. 体育・保健体育部会

《小学校の部》

(1) 令和5年度沼田市小中学校教育研究会

※小学校体育研究会（体育部会）

①期 日 令和5年4月25日

②会 場 テラス沼田5階第3委員会室

③内 容

・令和4年度 事業・決算・監査報告

・令和5年度 役員の選出と組織編成

部長(県理事) 菅原 慶成(薄根小)

副部長 倉品 健(升形小)

書記・会計 森山 有紗(薄根小)

監 査 吉野 泰広(白沢小)

県評議員(陸上) 石田 真規(利根小)

(水泳) 藤井 祐聖(沼東小)

(情報) 吉澤 早紀(升形小)

(研修) 星野 利彰(川田小)

各部の人数

(陸上4、水泳4、情報1、研修1)

・令和5年度 事業計画と予算について

(2) 県理事会議

5/12・7/4・2/2 県総合スポーツセンター

(3) 県小体研体育学習研修会 7/24 ぐんま武道館

(4) 沼田市小学校水泳記録会 7/27 市民プール

県選手選考会 郡市合同陸上記録会打合

(5) 県水泳教室記録会 8/7 県営敷島水泳場

(6) 体育実技講習会 8/23 各校で伝達

(7) 郡市陸上記録会 10/4 沼田市陸上競技場

県陸上教室記録会選手選考会；薄根小

(8) 県陸上教室記録会 10/28 正田醤油スタジアム

(9) 地区別体育授業研究会 10/31 安中市小

(10) 県学校体育研究発表会 11/10 群馬会館

沼田市から5名参加

(11) 市体育主任会の期日と主な内容

① 4/25 本年度の組織づくり

② 6/16 小体実技、市水泳記録会について

③ 8/23 郡市合同小学校陸上記録会について

④ 2/21 5年度の反省と6年度の計画について

6年度から水泳記録会を郡市合同で開催予定

《中学校の部》

(1) 市関係

① 令和5年度沼田市小中学校教育研究会

紙面報告

令和4年度事業、決算、監査報告

令和5年度役員選出、組織編成

部長 田村 学 (利根中)

副部長 吉野 智彰 (沼西中)

副部長 星野 颯 (沼東中)

書記・会計 井上 幸大 (利根中)

会計監査 松井 秀幸 (薄根中)

県理事(副会長) 田村 学 (利根中)

県理事 綿貫 諒太 (沼南中)

女子委員 *R2より休止

令和5年度事業計画、予算案

(2) 県関係

① 中学校保健体育研究会総会 5/17(水)

会場：県総合スポーツセンター

令和4年度事業、決算、監査報告

令和5年度役員選出、事業計画、予算案

② 体育実技講習会 6/20(火)

会場：ぐんま武道館 第二道場

「ダンス領域について」

群馬大学共同教育学部教授 木山 慶子 氏

③ ブロック別授業研究会 10/18(水)

会場：伊勢崎市立第一中学校

公開授業「器械運動」

授業者 伊勢崎第一中 大谷 勇 教諭

④ 学校体育研究発表会 11/10(金)

会場：群馬会館

全体発表「保健学習におけるがん教育の実践」

中学校部会別発表

発表者 伊勢崎あずま中 塚田あゆみ 教諭

発表者 下仁田下仁田中 青木 元気 教諭

8 沼田市中学校体育連盟

(1) 令和5年度役員組織

会 長	田村 学 (利根中)		
理事長	井上 幸大	鞆 颯	畔上 峻也(利根中)
評議員	富田 孝(沼田中) 根岸 浩文(沼南中) 中島 潔(沼西中) 佐々木 孝(沼東中) 金井 綾子(池田中) 松井 秀幸(薄根中) 三俣 利明(白沢中) 宮田 好子(多那中)		

(2) 理事会及び各種会議

4月11日(火) 評議員・常任理事会(沼田中)

5月10日(水) 理事会(沼田中)

9月21日(木) 駅伝運営会議(白沢中)

12月19日(火) 理事会(沼田中)

2月29日(木) 年度末総会(沼田中)

(3) 沼田市・群馬県・関東・全国大会成績

①沼田市春季大会 4月22日～5月3日

(団体優勝校及び県大会出場校のみ)

- ・野球 (沼東中)
- ・ソフトボール (沼田・薄根合同)
- ・バスケットボール 男(沼西中)女(白沢中)
- ・バレーボール (薄根中・沼田中)
- ・ソフトテニス 男(沼西中)女(沼田中)
- ・卓球 男(沼田中)
女(沼田中・沼南中)
- ・サッカー (沼田中)
- ・柔道 男(沼田中・薄根中)女(沼田中)
- ・剣道 男(白沢中・沼東中・池田中)
女(沼西中・白沢中)

②群馬県春季大会 6月4日～11日

- ・バレーボール 【第3位】薄根中
- ・卓球男子 【準優勝】沼田中
- ・卓球女子 【第3位】沼田中
- ・剣道男子 【準優勝】白沢中
- ・柔道女子 【ベスト8】沼田中

③沼田市陸上競技大会 5月27日

④沼田市総合体育大会 7月1日～17日

(団体優勝校及び県大会出場校のみ)

- ・野球 (沼東中)
- ・ソフトボール (沼田・薄根合同)

- ・バスケットボール 男(沼田中)女(白沢中)
- ・バレーボール (薄根中・沼田中)
- ・ソフトテニス 男(沼西中)女(薄根中)
- ・卓球 男(沼田中・沼西中)
女(沼田中・沼南中)

- ・サッカー (沼田中)
- ・柔道 男(沼田中)女(沼田中)
- ・剣道 男(白沢中・沼東中)女(薄根中)

⑤群馬県総合体育大会 7月28日～7月31日

- ・バレーボール 【準優勝】薄根中(関東大会出場)
- ・剣道男 【準優勝】白沢中(関東大会出場)
- ・卓球男 【ベスト8】沼田中
- ・柔道女 【第3位】沼田中(関東大会出場)

⑥関東大会 8月5日～10日(関東各地)

⑦全国大会 8月17日～26日(四国ブロック)

⑧沼田市駅伝競走大会 10月4日

- ・男子【優勝】沼南中 【準優勝】沼田中
- ・女子【優勝】白沢中 【準優勝】薄根中

⑨群馬県中学校駅伝競走大会 11月11日

⑩沼田市新人大会 8月17日～9月30日

(団体優勝校及び県大会出場校のみ)

- ・野球 (沼田・沼西・池田・利根合同)
- ・ソフトボール (沼田・薄根合同)
- ・バスケットボール 男(沼田中)女(沼田中)
- ・バレーボール (沼田・薄根合同・沼東中)
- ・ソフトテニス 男(薄根中)女(沼南中)
- ・卓球 男(沼田中)女(沼南中)
- ・サッカー (沼田・沼南合同)
- ・柔道 男(沼田中)女(沼田中)
- ・剣道 男(沼南中・沼西中)
女(沼田中)

⑪群馬県新人大会 9月10日～11月5日

- ・ソフトボール 【ベスト8】沼田・薄根合同
- ・柔道女 【第3位】沼田中

⑫県総体スキー大会 6年1月8日～10日

⑬全国スキー大会(長野県) 6年2月6日～9日

⑭県新人スキー大会 6年2月24日～25日

9 小学校家庭部会

(1) 市小学校家庭科部会総会

- ・期日 令和5年4月21日(金)
- ・会場 令和2年度から紙上開催
- ①令和4年度事業並びに会計決算報告
- ②令和4年度監査報告
- ③令和5年度役員選出

部 長	永島 芳信	(沼田小)
副 部 長	萩原 瑠奈	(沼田小)
書記・会計	萩原 瑠奈	(沼田小)
会計監査	阿部 貞治	(川田小)
県理事(校長)	永島 芳信	(沼田小)
〃 (教諭)	萩原 瑠奈	(沼田小)

- ④令和5年度事業計画・予算案審議
- ⑤県小家研の事業及び研修について

(2) 県小学校家庭科教育研究会総会及び研修会

- ・期日 令和5年6月2日(金)
- ・会場 紙上開催
- ①令和5年度定期総会
 - 令和4年度事業報告
 - 令和4年度決算報告、会計監査報告
 - 令和5年度本部役員の確認
 - 令和5年度事業計画
 - 令和5年度予算案
 - 県大会のローテーションの確認

(3) 市小学校家庭科部会夏季研修会

(令和2年度から業務改善のため廃止)

(4) 全国小学校家庭科教育研究会 神奈川大会

- 関甲信小学校家庭科教育研究会 神奈川大会
- ・期日 令和5年10月27日(金)
- ・会場 横浜市立東小学校(授業公開会場)
- 横浜市立桜岡小学校(授業公開会場)
- テンネー記念ホール(全体会場)
- ・大会主題「豊かな心と実践力を育み、未来を拓く家庭科教育」
- ・全体指導
文科省教科調査官 熊谷 有紀子 先生

(5) 県小学校家庭科教育研究大会

- ・期日 令和5年11月10日(金)
- ・会場 前橋市立桂萱小学校
- ・指導助言
県教委義務教育課 中里 真一 先生

(6) 市小学校家庭科主任会

(令和5年度から業務改善のため廃止)

(7) 県小学校家庭科教育研究会本部役員会

- ・期日 令和6年3月4日(月)
- ・会場 紙上開催
- ①令和5年度諸事業のまとめ
- ②令和6年度諸計画準備

10 中学校技術・家庭部会

(1) 研究部総会

紙上開催

①令和4年度事業報告・会計報告

②令和5年度役員選出

部長 宮田 好子 (多那中)

副部長 下飯 英樹 (薄根中)

小林美緒奈 (沼南中)

書記 中島美保子 (薄根中)

会計及び監査 予算なし

県理事 宮田 好子 (多那中)

県幹事 井上 治男 (沼西中)

中島美保子 (薄根中)

③令和5年度事業計画

※利根郡沼田市合同による事業推進

ア 研究部総会

イ 県定期総会・県理事幹事会

ウ 郡市合同夏期技術科研修会

(2) 県中学校技術・家庭科部会定期総会

6月9日(金) 県青少年会館

①令和4年度事業報告・決算報告

②令和5年度 役員(組織、理事・幹事一覧)

③令和5年度事業計画・予算審議

④関東甲信越 技術・家庭科研究大会の提案順 ⑤会則

(3) 県中学校技術・家庭科部会及び研修会

・研究主題

「思考力、判断力、表現力等を高め、

よりよい生活の実現を目指す生徒の育成」

(4) 郡市合同夏期技術・家庭科研修会

○技術科・家庭科ともに個人研修とする

(5) 第62回関東甲信越地区中学校技術・家庭科

研究大会 群馬大会

・日時：11月1日(水)理事研修会、2日(木)全体会・分科会(6会場+2会場オンデマンド)

・場所：高崎市立寺尾中学校

・第7分科会 利根沼田地区実践発表

沼田南中学校(家庭分野 B2) (オンデマンド配信)

(6) 関東甲信越地区技・家研究大会 群馬大会
研究部研修会 (利根郡沼田市合同)

・令和5年5月25日(木)第7分科会(薄根中)

・令和5年6月6日(火)第7分科会(薄根中)

・令和5年6月23日(金)最終プレ発表(オンライン)

・令和5年7月14日(金)第7分科会プレ授業
授業者 岩崎雅大(沼西中)

・令和5年10月6日(金)第7分科会公開授業
及び研究発表(オンデマンド配信用撮影)

2年2組「快適で安全な住まい方」

授業者：小林 美緒奈(沼南中)

研究発表：中島 美保子(薄根中)

指導助言：飯島 花織 指導主事

(群馬県総合教育センター)

(7) 関東甲信越地区技・家研究大会 群馬大会
実行委員会

・令和5年6月9日(金) 県青少年会館

・令和5年7月21日(金) 群馬県総合教育センター

・令和5年8月23日(水) 県青少年会館

・令和5年9月29日(金) 県青少年会館

(8) 市発明くふう展審査

9月13日(水) テラス沼田

審査員：井上 治男(沼西中)

(9) 第23回 全国中学生創造ものづくり教育フェア 群馬県大会

①創造アイデアロボットコンテスト

②豊かな生活を創るアイデアバッグコンクール

令和5年11月4日(土) 高崎新町防災センター

(10) 第23回 全国中学生創造ものづくり教育フェア

関東甲信越地区大会 栃木大会

①創造アイデアロボットコンテスト

②豊かな生活を創るアイデアバッグコンクール

令和5年12月3日(日) 栃木市立大平中学校

(11) 第23回 全国中学生創造ものづくり教育フェア

①生徒作品コンクール

②創造アイデアロボットコンテスト

令和6年1月20日(土)~21日(日)

東京都中央区総合スポーツセンター

11 小学校英語部会

(1) 小学校英語部会総会

- ・期日 令和5年4月
- ・紙上開催

①市小学校英語部会組織編成について

部長	渡辺 元子	(池田小)
副部長	栞原 智恵	(沼東小)
書記	小田橋美玖	(池田小)
会計	小田橋美玖	(池田小)
会計監査	内田 明子	(沼北小)
県理事	渡辺 元子	(池田小)
	栞原 智恵	(沼東小)

②令和4年度 事業報告・会計報告並びに 監査報告

③令和5年度 事業計画について

(2) 県小学校英語部会理事総会

- ・期日 令和5年6月
- ・紙上開催及び意見交換

①令和4年度役員等名簿、事業報告

②令和4年度収支決算書、会計報告

③令和5年度役員等名簿、事業計画案

④令和5年度収支予算書案

⑤令和5年度小学校英語部会

地区代表理事名簿

⑥小学校英語部会 会則

⑦役員ローテーションについて

⑧令和5年度研究協議会

西毛ブロック藤岡多野・安中大会について

- ・紙面により意見交換がなされ上記③④について承認済み

(3) 県小学校英語部会理事総会

- ・期日 令和6年3月
- ・紙上開催

①今年度のまとめと次年度の予定

②各地区の来年度への引継

③諸連絡等

(4) 研修会

- ・実施なし

(5) その他

本教育活動との関連の深い英語活動

①県小学校英語部会研究協議会

西毛ブロック藤岡多野・安中大会

- ・期日 令和5年11月24日(金)

- ・場所 藤岡市立神流小学校

- ・発表内容

ア. 公開授業

6年

指導者 新井 優子 教諭

ALT アイリン・コルシノ

場所 3階 English Room 3

○ 单元名

Unit 6 Let's think about our food

(NEW HORIZON Elementary English Course 6)

○ ねらい

ALTへのインタビューでのやり取りを通して、食材や生産地、食品グループについて聞き取ることができる。

イ. 全体会(2階多目的室)

開会行事

授業説明

日程説明

ウ. 授業研究会 なし

※対象：県内小学校

教育委員会等教育関係職員

人数：60名程度に制限

参加申込者が定員を超えた場合は近接の学校等を優先する

12 英語部会

(1) 研究部総会

4月 紙面開催

①令和4年度事業報告並びに会計報告

②令和5年度役員選出

部長 宮田 好子 (多那中)

副部長 渡辺 元子 (池田小)

書記会計 高山 誠 (多那中)

会計監査 須藤 陽介 (沼田中)

県理事 (校長) 宮田 好子 (多那中)

(教諭) 高山 誠 (多那中)

研究員 高山 誠 (多那中)

③令和5年度事業計画並びに予算案作成

(2) 第1回英語主任会開催 5月紙面開催

①スペリングコンテスト

・問題作成検討会 8月3日(木) 多那中学校

・問題原案作成当番校

1学年 多那中学校

2学年 沼田中学校

3学年 利根中学校

・出題範囲

1年 New Horizon 1 (Hi, English ~ Unit 6)

Sunshine 1 (Program1 ~ 6)

2年 New Horizon 1 (Unit 7 ~ Let's Read)

Sunshine 1 (Program 7 ~ 11)

Sunshine 2 (Program 1 ~ 3)

3年 New Horizon 2 (Unit 3 ~ Let's Read)

Sunshine 2 (Program 4 ~ Reading 3)

Sunshine 3 (Program1 ~ Reading1) 過去形・過去分詞

②スピーチコンテスト

・県の審査同様にビデオ審査

・3年生のみ実施

(3) 第2回英語主任会 8月3日(木) 於 多那中学校

①スペリングコンテスト

・問題作成上の確認事項等

②スピーチコンテスト

・日程、出場者、発表順の確認

・ビデオ撮影について確認

(4) スピーチコンテスト

①実施日 9月13日(水) 多那中学校

・審査員

角田 厚 先生 (沼田市教委指導主事)

ブリットニー・リングラー先生

(沼田女子高校 ALT)

・出場者 3年-14名 (個人出場)

・入賞【一般の部】

1位 (沼田南中) 吉野ラムル(県大会出場)

2位 (薄根中) 堀江 来瞳(県大会出場)

3位 (沼田東中) 角田 楓雅(県大会出場)

(5) スペリングコンテスト

①入賞者総数: 238名

(内訳) 1年- 47名

2年- 81名

3年- 110名

(6) 県理事総会 6月9日(金) オンライン開催

①令和4年度行事並びに会計・監査報告

②令和5年度役員選出

③令和5年度行事計画並びに予算案検討

④令和5年度群馬県英語弁論大会について

⑤令和5年度関ブロ栃木大会について

(7) 関ブロ栃木大会 発表者: 高山 誠(多那中)

①県理事会にてプレ発表会

8月30日(水) オンライン開催

②関ブロ栃木大会

11月10日(金) オンライン参加

③県外提案報告発表 紙面発表

(8) 県理事総会 3月 紙面開催

①令和5年度行事報告

②令和6年度行事計画等について

1.3 道徳部会(小中合同)

(1) 研究部総会(紙面)

- ・令和4年度事業報告等
- ・令和5年度役員選出
部長 田村 学(利根中)
副部長 下田 一貴(白沢小)
書記・会計 横坂 真優(利根中)
会計監査 星野 智子(多那小)
会計監査 高坂 拓歩(沼東中)
県理事(校長) 田村 学(利根中)
県理事(校長) 下田 一貴(白沢小)
県理事(教諭)・研究員 小嶋 博子(沼南中)
- ・令和5年度事業計画
- ・県小中学校道徳部会理事総会
- ・県小中学校道徳教育研究協議会
- ・関東小中学校道徳教育研究大会への参加

(2) 県小学校道徳部会理事総会

- 5月10日(水) 県生涯学習センター
- ・令和4年度事業報告並びに決算報告
- ・令和5年度役員選出・事業・予算決定

(3) 県小学校道徳教育研究大会

- 11月17日(金) みなかみ町立古馬牧小
- ・実践事例、指導案 大会研究紀要配布
- ・公開授業 みなかみ町立古馬牧小学校

(4) 県小学校道徳部会理事総会

- 3月6日(水): 県生涯学習センター
- ・次年度以降の事業計画等
- 令和6年度県大会 大泉町立東小学校
令和10年度関ブロ 大会発表
前橋市
令和11年度県大会 沼田市
令和12年度全国 大会発表
前橋市

(5) 県中学校道徳部会理事・校長会総会

- 6月16日(金) 県生涯学習センター
- ・令和4年度事業報告及び決算報告
- ・令和5年度役員選出
- ・令和5年度事業計画、予算案等
- ・「群馬の道徳教育」(第57集)
令和5年度より発行廃止 Web版で公開

(6) 第1回研究部会

- 6月22日(木) オンライン
研究内容の立案について

(7) 第2回研究部会

- 8月3日(木) 県生涯学習センター
研究内容の実践について

(8) 関東甲信越中学校道徳研究大会栃木大会

- 10月27日(金) 足利市立北中学校

(9) 全国中学校道徳研究大会北海道函館大会

- 11月1日(水)～2日(木)
函館市立亀田中学校
本県から3名参加(校長、事務局)

(10) 県中学校道徳部会地区別研究会

- 令和5年度より研究会を変更
担当地区の実践例 Web版で公開

(11) 第3回研究部会

- 12月7日(木) オンライン
研究実践のまとめ Web版で公開

(12) 県中学校道徳部会理事・校長会総会

- 3月15日 県生涯学習センター
- ・令和5年度事業報告及び決算報告
- ・次年度以降の中道研ローテーション
令和6年度 県会長(前橋)
令和9年度 研究部長(沼田・利根)
令和10年度 県会長(沼田・利根)
令和12年度関ブロ群馬大会(西毛)

14 特別活動部会

(1) 小学校

①市研究部会総会・・・業務改善により実施せず

- ・令和5年度 市研究部組織
- 部 長 阿部かおる (升形小)
- 副 部 長 吉野 幸恵 (利南東小)
- 書記・会計 登坂 厚子 (升形小)
- 会 計 監 査 後藤 千穂 (沼田小)
- －県理事－
- (校長) 阿部かおる (升形小)
- (教諭) 阿部 政志 (薄根小)

②県小学校特別活動部会

ア 第1回理事総会

令和5年5月25日(木)

伊勢崎市宮郷公民館

- ・令和4年度事業並びに収支決算報告等
- ・令和5年度役員、事業計画・予算案等

イ 令和5年度群馬県キャリア教育研究大会

令和5年11月17日(金)

オンライン開催

- ・大会主題「子供のよさや可能性を伸ばし、確かな資質・能力を育む特別活動」
- ・実践発表
- 【小特活部会】下仁田町立下仁田小学校
- ・講演会 「キャリア教育の充実について」
追手門学院大学 三川 俊樹 教授

ウ 第2回理事総会

令和6年2月27日(火)

伊勢崎市宮郷公民館

- ・令和5年度事業並びに収支決算報告等
- ・令和6年度役員、事業計画・予算案等

(2) 中学校

①市研究部会総会・・・業務改善により実施せず

- ・令和5年度 市研究部組織
- 部 長 根岸 浩文 (沼田南中)
- 副 部 長 齋藤 広大 (白沢中)
- 書記・会計 治田 千晶 (沼田南中)
- 会 計 監 査 佐鳥 悠平 (利根中)
- －県理事－
- (校長) 根岸 浩文 (沼田南中)
- (教諭) 治田 千晶 (沼田南中)

②県中学校特別活動部会

ア 第1回役員会・理事総会

業務改善により紙面開催

- ・令和4年度事業並びに収支決算報告等
- ・令和5年度役員選出、事業計画・予算案等

イ 県キャリア教育研究大会

- ・実践発表 中特部会 高崎市立入野中学校
- ・講演会 追手門学院大学 三川 俊樹 教授

ウ 第2回役員会並びに第2回理事会

業務改善により紙面開催

- ・令和5年度事業並びに決算報告
- ・令和6年度事業計画、予算案、役員選出方法等の確認

15 生活・総合的な学習部会

(1) 令和5年度 組織編成

部 長 中島 潔 (沼西中)
副 部 長 登坂 一彦 (沼東小)
書 記 岩崎 雅大 (沼西中)
会 計 岩崎 雅大 (沼西中)
監 査 土井 智穂 (沼東小)
〃 齋藤 広大 (白沢中)
県理事小校長 登坂 一彦 (沼東小)
県理事小教諭 土井 智穂 (沼東小)
県理事中校長 中島 潔 (沼西中)
県理事中教諭 小幡 儀見 (沼東中)

(2) 第1回県中学校総合的な学習部会理事総会

- 令和5年6月 メール配信での紙面開催
 - ・令和5年度役員等及び事業計画
 - ・令和5年度地区理事
 - ・令和5年度の研究活動

(3) 第1回県小学校生活科・総合的な学習部会理事総会・関ブロ群馬大会実行委員会

- 令和5年6月6日(火)生涯学習センター
 - ・令和4年度事業報告・収支決算報告
 - ・令和5年度事業予定・予算案
 - ・令和5年度本部役員
 - ・第13回県研究協議会(兼関ブロ大会)
- 令和5年度第1回関ブロ群馬大会実行委員会
 - ・役員組織、大会要項の確認
 - ・各部担当業務の協議・確認

(4) 第2回小学校関ブロ群馬大会実行委員会

- 令和5年7月6日(木)生涯学習センター
 - ・各部の進捗状況確認、今後業務の検討

(5) 小学校関ブロ群馬大会画像前撮り

- 平成5年8月～9月 開会行事等
- 平成5年10月 公開授業

(6) 第3回小学校関ブロ群馬大会実行委員会

- 令和5年9月6日(木)生涯学習センター
 - ・各部の進捗状況及び今後業務の検討

(7) 第25回関東地区小学校生活科・総合的な学習研究協議会兼第13回群馬県研究協議会

- ① 期日 令和5年11月17日(金)
- ② YouTubeによるオンライン配信
- ③ 授業公開校 桐生市立天沼小学校
みどり市立笠懸東小学校

(8) 県中学校総合的な学習部会地区別研究大会

- 本年度より当分の間、実施なし

(9) 県中学校総合的な学習部会研究紀要のWeb公開

- 令和5年12月現在 Web公開なし
 - ・過年度や今年度の実践で参考になるようなものがあれば可能な範囲で公開する。

(10) 第4回小学校関ブロ群馬大会実行委員会

- 令和5年12月12日(火)生涯学習センター
 - ・関ブロ群馬大会の反省、事後対等の検討

(11) 県中学校総合的な学習部会

- 令和6年1月 会計監査

(12) 第2回県小学校生活科・総合的な学習部会理事総会

- 令和6年2月 生涯学習センター
 - ・令和5年度事業報告・会計報告
 - ・令和6年度事業計画・本部役員

(13) 第2回県中学校総合的な学習部会理事総会

- 令和6年2月 メール配信での紙面開催
 - ・令和5年度活動概要及び会計・監査報告
 - ・令和6年度役員を選出
 - ・令和6年度理事総会、研究紀要の作成
 - ・部会長及び事務局の業務

16 人権教育部会

人権教育部会は、利根郡小中学校教育研究会人権教育部会と合同で研究推進にあっている。

(1) 【役員組織】

会 長 金井 綾子 (池 田 中)
副 会 長 永島 芳信 (沼 田 小)
細矢 瑞左 (古馬牧小)
秋元 秀文 (昭 和 中)
書記会計 小林 寿雄 (池 田 中)
常任理事 (郡市より小中各2名)
沼 田 萩原 瑠奈 (沼 田 小)
小林 寿雄 (池 田 中)
利 根 小野 圭三 (古馬牧小)
金子 真人 (昭 和 中)
県 理 事 永島 芳信 (沼 田 小)
(校長) 細矢 瑞左 (古馬牧小)
金井 綾子 (池 田 中)
秋元 秀文 (昭 和 中)
県 理 事 萩原 瑠奈 (沼 田 小)
(教諭) 小野 圭三 (古馬牧小)
小林 寿雄 (池 田 中)
金子 真人 (昭 和 中)

(2) 群馬県小学校中学校教育研究会人権教育部会

【理事総会】

<紙面による理事総会となる>

- ①期 日 令和5年5月31日 (水)
- ②会 場 紙上開催
- ③内 容
 - ア 令和4年度事業・決算・監査報告
 - イ 令和5年度本部役員選出・承認
 - ウ 令和5年度事業・予算の審議と承認
- ④その他
 - ・人権教育研修会について等

(3) 群馬県人権教育研修会

- ①期 日 令和5年8月4日 (金)
 - ②会 場 伊勢崎市民プラザ ホール
- <中止>

(4) 地区別人権教育研究協議会

- ①期 日 令和5年12月8日 (金)
- ②会 場 みなかみ町立古馬牧小学校
- ③内 容
 - 公開授業
 - 2年 国語科 植木みどり 教諭
 - 3年 道徳科 島 史哉 教諭
 - 5年 学級活動 角田 直樹 教諭
 - 全体会
 - 説明 「本校の人権教育の取組について」
人権教育主任 小野 圭三 教諭
 - 協議 「各校の人権教育の取組のさらなる推進に向けて」
協議のまとめ 中島 康男 指導主事
 - 授業研究会指導助言
 - 2年 国語科 利根教育事務所
金子 平 指導主事
 - 3年 道徳科 利根教育事務所
久保野雅之 指導主事
 - 5年 学級活動 利根教育事務所
野原 亮 指導主事

17 情報教育部会

(1) 組織編成・事業計画等（紙面にて）

○内 容

- ア 令和4年度事業及び会計報告
- イ 令和5年度役員選出
部 長 三俣 利明（白 沢 中）
副 部 長 吉田 広幸（利 根 小）
書 記 林 徹志（白 沢 中）
会 計 渡辺 訓史（利 根 小）
会 計 監 査 富永 隼哉（白 沢 小）
会 計 監 査 佐鳥 悠平（利 根 中）
県常任理事 三俣 利明（白 沢 中）
県 理 事 渡辺 訓史（利 根 小）
- ウ 令和5年度事業計画
 - ・郡市合同情報教育主任会（紙面） 4月
 - ・県情報教育部会理事総会（紙面） 5月
 - ・NHK放送コンテスト（CD審査） 7月
 - ・郡市合同情報教育夏期研修会 8月
 - ・県学校情報研究会（東毛地区） 11月
 - ・県情報教育部会常任理事総会 2月

(2) 県情報教育部会理事総会（紙面にて）

- ①期 日 令和5年5月22日（月）
- ②内 容
 - ア 令和4年度事業報告・会計報告
 - イ 令和5年度役員選出、事務局の委嘱
 - ウ 令和5年度事業計画の提案
 - エ 令和5年度予算の提案
 - オ その他

(3) 郡市合同情報教育夏期研修会

（オンライン開催）

- ①期 日 令和5年8月2日（水）
- ②会 場 各小中学校
- ③参加者 沼田市・利根郡情報教育主任等
19名（沼田市は13名）
- ④内 容
 - ア ・Google フォームの基本操作と授業における活用
 - ・情報モラル指導の最新情報

イ 講師

昭和村立大河原小学校 平形隆正 校長
（株）広教 坂谷 泰幸 様

(4) NHK放送コンテスト

- NHK前橋放送局にてCD録音による審査
（対応依頼なし）

(5) 県学校情報研究会（東毛地区）

（オンデマンド配信型開催）

<みどり市立笠懸西小学校の発表>

- ① 公開日 令和5年12月11日（月）～
12月22日（金）
- ② 授業公開
 - 2年・音楽：齋木教諭
 - 4年・算数：根岸教諭
 - 5年・英語：板羽教諭
- ③ 指導助言
みどり市教育委員会
西村 晋一 指導主事

(6) 関東甲信越放送・視聴覚教育研究大会山梨大会

- ①期 日 令和5年11月17日（金）
（オンライン開催）
- ②協力校 認定こども園なでしここども園
甲府市立大國小学校
甲府市立城南中学校
山梨県立甲府昭和高等学校
- ③大会主題
「豊かな未来に向け、持続可能な社会の実現を担う子どもの育成 ～豊かな感性と深い学びを育む教育メディアの活用～」
- ④記念講演
 - ア 演題「これから求められる学びと授業改善の視点」
 - イ 講師 三井 一希 氏
（山梨大学教育学部附属教育実践総合センター准教授）

18 図書館部会

(1) 市教育研究会図書館部会（資料配付による）

① 令和4年度事業報告並びに会計報告承認

② 令和5年度組織編成

- ・部長 阿部かおる（升形小）
- ・副部長 三俣 利明（白沢中）
- ・書記・会計 青木 和成（升形小）
- ・会計監査 大関 孝行（沼田南中）
- ・読書感想文 小野 露葉（利南東小）
- 県審査員 森下 好美（池田小）
- 千明 春香（多那中）
- ・市図書館利用 内田 明子（沼田北小）
- 者の会委員 登坂 俊介（沼田東中）

③ 令和5年度事業計画及び予算案審議

(2) 市小中学校図書主任会

第1回：6/2(金) 書面開催

- ・読書感想文コンクールについて

第2回：9/7(木)・各校にて審査作業

- ・読書感想文コンクール各校審査

第3回：9/27(水)・書面審査

- ・感想文審査（入賞作品、市代表作品の決定）
- ・読書感想画コンクールについて

第4回：1/11(木)・感想画審査（入賞作品、市代表の決定）・次年度役員の確認等

(3) 県・関東ブロ・全国大会関係

① 県小中学校教育研究会学校図書館部会総会
〈6月2日（金） 甘楽町図書館〉

- ・令和4年度事業並びに決算・監査報告
- ・令和5年度事業並びに予算案審議

② 第37回関東地区学校図書館研究大会

川越大会（対面、オンデマンド配信併用）

『未来への希望と学びを支える学校図書館』

〈8月9日（水）～10日（木）ウエスタ川越〉

(4) コンクール関係

※自：自由読書(図書) 課：課題読書 指：指定図書

「」：図書名（感想文）、題名（感想画）

① 読書感想文コンクール県審査出品作品
〈小学校低学年〉

自：「おぼけたんてい」を読んで

沼北小2年 石崎 柚貴

課：「小さなたねから大きなけんか」

沼北小2年 鎌田 紗幸

〈小学校中学年〉

自：「五七五ぼくのとなりはブラジル人を読んで」

池田小3年 阿部 美音

課：「ぼくもいつか見つけるぞ」

沼東小4年 荒木 奏大

〈小学校高学年〉

自：「運転者」

沼北小6年 田辺 絢人

課：「ま女だったかもしれないわたし」

沼北小5年 石崎 実音

〈中学校〉

自：「悩んで進む」

沼南中1年 吉澤 旺

課：「挑戦のない失敗はもうしない」

沼田中3年 武井 大悟

② 読書感想画コンクール県審査出品作品
〈小学校低学年〉

自：「もりのえんそうかい」

薄根小1年 木内 梓

指：「かなぼうをふりまわす二人」

池田小1年 小島 涼葉

〈小学校高学年〉

自：「犬と私のはじまりのストーリー」

利根小5年 星野 流奈

指：「作戦大成功！！」

利根小5年 井上 伊織

〈中学校〉

自：「かがみの孤城」

沼田西中2年 戸丸 碧唯

指：「パップが見つめる聖なる絆」

沼田南中2年 吉澤 花恵

19 特別支援教育部会

(1) 令和5年度役員組織

部長	下田 一貴 (白沢小)
副部長	根岸 浩文 (沼田南中)
書記	吉野 泰広 (白沢小)
会計	見城麻桜香 (〃)
会計監査	山田 哲也 (多那中)
県理事(小)	下田 一貴 (白沢小)
県理事(中)	根岸 浩文 (沼田南中)

(2) 部会及び各種事業 【 】内は今年度の担当校

- ・平成31年度より郡市合同特別支援部会の会議は廃止

①特別支援教育部会 → 書面開催

- ・令和4年度事業報告
- ・令和4年度会計報告および監査報告
- ・令和5年度組織編成、事業計画、予算案

②中学校特別支援学級進路学習会【7/25 沼田中】

③市中学校特支学級及び特別支援学校中学部交流会【9/14 多那中】

- ・行き先：みなかみフルーツランド たくみの里
- ・内容：ブドウ狩り そば打ち おめんづくり
- ・参加者：バス2台 67人

④市小学校特支学級親子招待旅行

【9/22 沼田東小】

- ・行き先：桐生が岡遊園地・動物園
- ・内容：園内散策 アトラクション利用
- ・参加者：バス7台 280人

⑤沼田市小中学校特別支援学級及び沼田支援学校交流会 → 本年度より廃止

⑥市自閉症・情緒障害教育部会【白沢小】

→ 中止

(3) 県・全国特別支援教育研究会関係

①知的障害教育部会（群特研）【沼田北小】

- ・役員会 (5/23) 館林市文化会館
- ・関プロ栃木大会(8/4) 栃木県教育会館 他
参集型とオンライン型を組み合わせ実施
- ・夏季研修会(8/18~9/29) → Web配信

②自閉症・情緒障害教育部会【白沢小】

- ・総会(5/23) → 書面開催
- ・夏季研修会(8/18) → オンライン
- ・地区別研究会 → 中止
- ※ 他、通級研究協議会を5回実施

③難聴・言語障害教育部会

【沼田小・沼田東小・白沢中】

- ・総会(4/25) → 書面開催
- ・第1回全体研究会及び第1回班別研修会(5/11) → オンライン
- ・中北ブロック第1回研究会(5/26) → オンライン
- ・第2回全体研究会(7/24) → オンライン
- ・全難言協埼玉大会(7/28~29)
- ・第3回全体研究会及び班別研修会(8/17)
藤岡みかぼみらい館等
- ・中北ブロック第2回研究会(8/22)
渋川市北橋公民館
- ・第4回全体研究会及び班別研修会(11/20)
県総合教育センター
- ・中北ブロック第3回研究会(12/7)
渋川市北橋公民館

④特別支援学級設置学校長協会（群特協）

【沼田小・多那中】

- ・第1回理事会・総会(6/6)生涯学習センター
- ・全特協愛知大会(8/3) 蒲郡市民会館
- ・全特協関プロ栃木大会(11/10) → オンライン
- ・第2回理事会・総会・研修会(2/28)
生涯学習センター

(4) 沼田市心身障害者育成会関係事業

①定期総会 (6/7)

②市内特別支援学級訪問 (7/10)

③群馬県手をつなぐ育成会大会(7/15) → オンライン

④福祉パレード (9/12)

20 進路指導部会

(1) 役員組織

部長 松井 秀幸 (薄根中)
書記会計 原 新 (薄根中)
県理事 (校長) 松井 秀幸 (薄根中)
県理事 (教諭) 原 新 (薄根中)

(2) 利根沼田進路指導協議会 役員組織

会長 阿部 忠博 (みなかみ中)
副会長 松井 秀幸 (薄根中)
書記会計 武井 修平 (みなかみ中)
監査 秋元 秀文 (昭和)
監査 松井 秀幸 (片品中)

(3) 市進路指導部会及び利根沼田進路指導協議会の各種事業

①市進路指導部会兼利根沼田進路指導協議会総会

5月26日 (木) 紙面開催

- 令和4年度事業報告並びに決算報告
- 令和5年度役員選出
- 令和5年度事業案並びに予算案審議
- 負担金の徴収について (今年度から廃止)

・学校分 生徒数×4円

- 私立高校入試説明会について

※協議会の事務局は郡市で2年交替
(令和5・6年度は利根郡が担当)

②私立高校入試説明会

9月15日 (金) 昭和村公民館

- 県内私立高校からの説明と質疑
- 参加高校: 桐生第一, 樹徳, 東農大二
共愛学園, 明和県央, 前橋育英,
高商大附, 健大高崎, 常磐

(4) 県中学校進路指導研究部会

〈研究テーマ〉「社会の変化に対応し、自己の生き方を切り拓くキャリア教育」

①定期総会

5月12日 (金) 群馬県生涯学習センター

- 令和4年度事業報告並びに決算報告
- 令和5年度役員選出
- 令和5年度事業案並びに予算案審議

○講演会

本年度も校長のみ参加なので実施せず。

②第49回関東甲信越中学校進路指導研究協議会茨城大会

11月10日 (金) オンライン開催 分科会発表はオンデマンド配信

〈大会主題〉「社会的・職業的自立に向けたキャリア教育と進路指導の在り方」

○分科会発表

・玉村町立南中学校

○記念講演会

講師 早稲田大学・総合科学術院 教授 三村 隆 氏
「発達支援的生徒指導とキャリア・パスポート」

③群馬県キャリア教育研究大会

11月17日 (金) Web 会議システム (Teams) を活用したオンライン開催

※平成30年度より業務の見直しにより進路指導研究協議会は、特別活動研究協議会と合同で、キャリア教育研究大会として開催することになった。

○実践発表

- ・群馬県小学校教育研究会特別活動部会
下仁田町立下仁田小学校
- ・群馬県中学校教育研究会特別活動部会
高崎市立入野中学校
- ・群馬県中学校教育研究会進路指導部会
富岡市立北中学校

○講演

講師 追手門学院大学教授 三川 俊樹 氏
「キャリア教育の充実について ―キャリア・アウンセリングによるキャリア・パスポートの作成・活用―」

※次年度実践発表校 中之条町立六合中学校

④理事校長会

2月9日 (金) 生涯学習センター

○研究の総括と次年度の課題

事業報告、会計報告、次年度の群中進組織の確認

- 令和6年度第50回関東甲信越地区中学校進路指導研究協議会埼玉大会について

※発表は富岡市立北中学校

2.1 養護部会（小中合同）

(1) 研究部総会：4月25日（火） 於 沼田南中

○令和4年度事業報告・決算報告

○令和5年度役員選出

部 長 根岸 浩文 （沼南中）

副 部 長 渡辺 元子 （池田小）

角田美由紀 （池田小）

真船由美子 （沼田中）

書 記 井上佳月子 （多那中）

会 計 本郷 郁香 （升形小）

○令和5年度事業計画及び予算審議

○確認事項

- ・沼田市児童生徒保健統計の検討
- ・養護部会研修会の検討
- ・児童生徒保健活動発表会の確認
- ・利根沼田養護教諭会研修会への参加

(2) 沼田市養護部会実技研修会

○7月26日（水）於利根沼田広域中央消防署

○救急救命法講習

(3) 保健主事会養護部会合同研修会

○8月21日（月）於白沢コミュニティセンター

○講師：臨床心理士・公認心理師 小池順子先生

○演題：自傷行為や問題行動の対応方法について

(4) 沼田市児童生徒保健統計結果の考察

【小学校】

1 発育状態

①身長：男子は全学年で、女子は5年生を除いて全国平均を下回っている。

②体重：男子は全学年で、女子は1・3・5年生が全国平均を上回っている。

③栄養状態：肥満傾向児（軽度肥満度以上）の出現率は、女子よりも男子に多い傾向があり、男女共に高度肥満が昨年度より増加している。

2 健康状態

①裸眼視力

男子は1年生を除いて全国平均を上回っていて、女子は1年生だけが上回っている。

②う歯・口腔

う歯のない者の割合は、男女共に5割近く、全国平均を大きく下回っている。学年別DMFT指数は1・2・6年生で県平均を下回っており、う歯が少ない。歯列・咬合は、わずかに全国平均を上回っているが、歯垢の状態・歯肉の状態は男女共に全国平均を下回っている。顎関節の割合は、女子が全国平均を上回っている。

【中学校】

1 発育状態

①身長：男子は1年生を除いて全国平均を上回っていて、女子は1年生だけが上回っている。

②体重：男子は全学年とも全国平均を上回り、特に3年生は2.3kg上回っている。女子は3年生を除いて全国平均を上回っている。

③栄養状態：肥満傾向児（軽度肥満度以上）の出現率は、女子より男子に多い傾向があり男女共に高度肥満が昨年より増加している。

2 健康状態

①裸眼視力

裸眼視力1.0以上の割合は男女共に全国平均を上回り、女子より男子の方が高い傾向にある。

②う歯・口腔

う歯のない者の割合は男女共に全国平均を下回っている。学年別DMFT指数は全学年で県平均を上回っており、う歯が多い。歯列・咬合、歯垢の状態、歯肉の状態は男女共に全国平均を下回っているが、顎関節の割合は女子が全国平均を上回っている。

2.2 事務職員部会

(1) 令和5年度役員

部長 大竹 敏之 (利南東小)
副部長 富田 孝 (沼田中)
〃 星野 一枝 (利根小)
書記 星野 恵美 (多那中)
会計 保坂 歩 (沼田東中)
会計監査 戸丸 慶子 (薄根小)
〃 松本あゆみ (池田中)
企画推進部長 山田 徳子 (川田小)
情報管理部長 保坂 洋介 (利根中)

(2) 事業内容

① 第1回沼田市事務部会

〈5月 書面開催〉

○総会

- ・令和4年度事業・会計報告
- ・令和4年度会計監査報告
- ・令和5年度組織編成
- ・令和5年度事業計画及び予算審議

○研修

- ・各専門部会活動計画検討
 - ・企画推進部会
 - ・情報管理部会
 - ・事務室長部会

② 第2回沼田市事務部会

〈開催なし〉

専門部・事務長会はメール等で
連絡をとり活動

③ 第3回沼田市事務部会

9月27日(水) テラス沼田

○学校教育課 林課長講話

○事務連絡

- ・修繕の流れについて
沼田市教育委員会より
- ・給食費事務処理等について
沼田市学校給食センターより

○専門部の活動報告及び情報交換

④ 第4回沼田市事務部会

〈2月 書面開催〉

○今年度の反省と次年度への課題

- ・メールにより意見集約を行い
次年度へ引き継ぎ

(3) その他

沼田市共同学校事務室連絡会議

6月14日(水) テラスぬまた
共同学校事務室連絡会議

6月30日(金) 利根沼田振興局

利根沼田事務研究会 会場：利根沼田振興局

5月12日(金) 全体会・総会

6月20日(火) 全体会・各部会

8月29日(火) 研修会

11月 8日(水) 全体会・各部会

1月12日(金) 全体会・各部会

2月21日(水) 全体会・各部会

群馬県公立小中学校事務研究会

定期総会 書面開催

研究発表大会 1月26日 オンライン

23 給食教育研究部会

(1) 沼田市給食教育研究部会

①組織編成

部長	内藤麗子	(川田小)
副部長	根岸浩文	(沼南中)
副部長	中條恭子	(利南東小)
副部長	櫛淵窓	(沼東中)
書記	桑原由佳	(川田小)
県理事	内藤麗子	(川田小)
〃	根岸浩文	(沼南中)

②事業計画

- ・県給食教育研究会定期総会 5月25日
- ・県学校給食研究集会 7月25日
- ・県給食教育研究会理事会 3月7日

(2) 群馬県給食教育研究会定期総会

①期日 令和5年5月25日(木)

②会場 群馬県学校給食会

③内容

- ・令和4年度事業報告・会計報告
- ・令和5年度役員選出、事業計画案
予算案審議及び承認
- ・研究集会、負担金納入について

(3) 群馬県学校給食研究集会

①期日 令和5年7月25日(火)

②会場 群馬会館

③内容

○研究発表

- ・研究主題
「生きる力」をはぐくむ
食育の推進と学校給食の充実

・発表者

太田市立沢野小学校 栄養教諭

「好き嫌いをしないで食べようとする
児童の育成」

館林市立第六小学校 栄養教諭

(前 太田市立休泊小学校)

「野菜に興味をもち、野菜を食べよう
とする児童の育成」

太田市立綿打中学校 栄養教諭

「給食センターと児童生徒との距離を
縮めるための取組について」

○講演会

- ・講師 武庫川女子大学教育学部
准教授 藤本 勇二
- ・演題 「学校における食育の推進」

(4) 第2回常任会議

①期日 令和5年9月7日(水)

②会場 群馬県学校給食会

③内容 学校給食研究集会の反省
会報作成について

(5) 第74回全国学校給食研究協議大会

①期日 令和5年10月19日(木)
～20日(金)

②会場 国立オリンピック記念青少年総合
センター

(6) 群馬県給食教育研究会理事会

①期日 令和6年3月7日(木)

②会場 群馬県学校給食会

③内容 ・次年度の事業予定
・会報配布について

第4章 沼田市独自施策・指定研究の展開

I 『がん教育総合支援事業』

令和5年度指定校 : 沼田市立薄根小学校

1 がん教育の定義

がん教育は、健康教育の一環として、がんについての正しい理解と、がん患者や家族などのがんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図る教育である。

2 がん教育の目標

児童への事前アンケート等から、本校では次のように目標を設定した。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">① がんについて正しく理解できるようにする② 健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする |
|--|

3 主な取組

本校では、指定を受けての新しい取組を最小限にとどめ、これまで取り組んできた内容の洗い出しや、今後も継続していける取組を実践することで、持続可能な取組としていくことをねらいとした。

授業実践

○ がんに関する学習（6年）

- ① 保健体育
- ② 「小学校版 がん教育プログラム」の活用
- ③ 外部講師によるがん体験談講話
 - ・がんになって気付いたこと
 - ・病気になったとしても、早期に発見し治療を行えば、それまでに近い生活を送れること

○ 各教科等における学習（全学年）

- ① 道徳科 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること — 生命の尊さ
各学年・学級での実践をまとめ、児童の気持ちの変化や日常の行動変化を見取る。

② 授業公開

道徳科「命のアサガオ」（6年）

限られた命を力の限り生き抜こうとした光祐くんや、その思いを受け継ぎたいとアサガオを育てたお母さんの思いから、かけがえのない命を大切にしようとする心情を育てる。

③ 学級活動

ぐんまちゃんの食育等、養護教諭と連携して各学級で指導する。

④ 家庭科

5年 — 食べて元気に — 「食事の役割・栄養素」

6年 — 朝食から健康な1日の生活を — 「まかせてね、今日の食事」

⑤ 理科

生命の誕生（5年）



健康教育

① 学校保健委員会

『未来の自分に元気を届けよう』

1学期－歯 2学期－排便 3学期－目

② 健康についてのミニ講話

『教えて、鈴木先生！』

講師；利根中央病院 総合診療科 鈴木 諭 家庭医療専門医

低学年と高学年の2回に分けて実施。健康について抱いている疑問に答えてもらう形での、児童参加型講話とした。

みんなが仲良くしていることが、一番健康維持になる。

③ PTA講演会

『がんについて学ぼう』

講師；群馬大学情報学部 准教授 片山 佳代子 医学博士

日曜参観に引き続き、保護者と4～6年児童が参加して、『検診の重要性』と『健康サポーター』になって大切な人の健康を守るということを学んだ。

④ 命を育む講座

5年生の親子行事として、助産師会の協力を受け、10年以上続けてきている。自分の誕生に関して、親子で学ぶことができる。経費がかかるが、今後も続けていきたい行事である。

⑤ 健康に関するアンケートの実施と分析

その他の活動

① 異学年交流

- ・6年生による1年生へのボランティア活動
- ・1・2年生－学校探検、遠足のグループ活動
- ・1・2年生－生活科「遊び名人」
- ・なかよし集会（1・6年、2・5年、3・4年での交流会）

② 委員会活動

- ・整美委員会によるウサギ当番（1・2年生）へのお手伝い
- ・図書委員会による1年生への読み聞かせ
- ・体育委員会によるスポーツプロジェクト
- ・放送委員会によるお誕生日の子の紹介

4 まとめにかえて

今回指定を受け、改めて健康教育について見直すことができた。これまで取り組んできた内容を、健康教育というフィルターを通すと、どの学校でも様々な取組を行っているのではないだろうか。そこに少し専門家や経験者に講師として参加していただくだけで、子どもを始め保護者や教師まで意識が高まることが実感できた。これから生きていく子どもたちが、学んでいかななくてはならない内容であり、継続して働きかけていくとともに、子どもたちの内面の成長を見守っていきたい。



Ⅱ 『がん教育総合支援事業』

令和5年度指定校 : 沼田市立薄根中学校

1 がん教育の目的


がんは日本人の死亡原因として最も多く、生涯のうち国民の二人に一人はがんに罹患する可能性がある。また、政府が策定したがん対策基本計画においても、子供に対し健康と命の大切さや自己管理、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい理解ができるように教育することを目指し、学校教育の中でがん教育を実施することが求められている。この内容は、日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全に関するもので、心身の機能や発達、心の健康についての理解を深め、生涯にわたって積極的に健康の保持増進を目指すものである。

2 本校の取組

本校では、生徒が日常の健康や安全に関する問題に自ら気付き、必要な情報を進んで収集し、よりよい解決方法を考えて、自己の健康や安全を保持増進するためのよりよい意思決定や行動選択をする力を育成することを目標に、学級活動の授業実践を中心に取り組むこととした。

3 授業実践

(1) 指導計画

過程	日時	主な活動	目指す生徒の姿
事前	7/11	・栄養教諭による食を考える授業において、がんのリスクを上げる食べ物、がんのリスクを下げる食べ物や食べ方について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・問題に対する自分の現状を考え、問題意識をもって考えようとしている。 
	9/20	・外部講師（沼田病院 岩波弘太郎先生）による講演会「がんの予防について」でがんの現状や種類、予防、治療方法等について考える。	
	9/25	・保健委員会による生活習慣振り返りチェック（キラリチェック）で今月の自己の生活習慣について振り返る。	
	10/2 ～	・保健体育科（保健）の授業【3時間】 ①生活習慣病の起こり方②生活習慣病の予防③がんの予防 ・がんの予防について考える。（あ）（い）	
本時	10/24	・がんの予防について考える。（あ）（い）	※展開参照
事後	11月下旬	・保健委員会による生活習慣振り返りチェック（キラリチェック）で今月（11月）の自己の生活習慣について振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いで出された考えを踏まえ、自分に合った具体的な目標を実践している。
	12月	・がんの予防についての具体的な目標を意識して生活することができていたか考える。（あ）（い）	

(2) 展開 <抜粋>

<p>★がんにならないために自分ができることを考え、気付いたことを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>《問いかけ》 がんにならないためにできることは何だろうか？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○がんの主な三つの原因の中で「生活習慣」については自分で気をつけることができることに気付く。 ○がんの原因の結果を踏まえて、具体的にどのような生活を送ればよいか発表する。 ○禁煙や節酒など望ましい生活習慣やがん検診を受けることが大切であることを理解する。 <p>★自分の大切な家族や身近な人のがんのリスクを減らすために自分たちができることを見付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○スライドを用いて男女別のがんの原因を確認させ、生活習慣については自分で気をつけることができることに気付かせる。 ○がんの原因の結果を踏まえて、具体的にどのような生活を送ればよいか問いかける。その際、グループ内で相談してもよいと助言する。 ○スライドを用いて、がん検診の必要性に気付かせる。 ○禁煙や節酒など望ましい生活習慣やがん検診を受けることが大切であることを理解させる。 <ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートを配付し、イラストの人にどのようなアドバイスをするか自分で考え記入するように促す。
--	---

- 望ましい生活習慣が大切だとわかっているにもかかわらず、忙しさなどを理由にそのような生活を送らない人に対して、どうアドバイスをすればよいか自分で考える。
- ワークシートに自分が考えたアドバイスを記入し、グループ内で発表し合う。
- グループ内でアドバイスを1つ選んだり作成したりし、ロールプレイを行う。その際動画を撮影し、ロイロノートに保存する。
- 各グループのロールプレイの様子を視聴する。



★本時の学習や話し合いを振り返り、がんの予防について自分に合った具体的な目標を決める。

- 生活習慣振り返りチェック（キラリチェック）を改めて確認し、自分の生活について再度振り返る。
- がんの予防について、自分に合った自己の具体的な目標を考える。



- グループ内で自己の目標を発表する。
- 各自の目標をロイロノート（共有ノート）にグループ分けをして保存する。

【保存・提出】

- 他のグループで出されたクラスメイトの目標を見る。
- 【共有】

- グループ内でよいアドバイスを1つ選んだり、それぞれのよいところを合わせたアドバイスを作成したりし、ロールプレイ（30秒程度）を行うように促す。その際、動画を撮影し、ロイロノートに保存するように伝える。
- 各グループのロールプレイを視聴させ、よいところを賞賛する。
- 自分の大切な家族や身近な人に、がんの予防について伝えていくことも大切であることを助言する。

◆目指す生徒の姿
観察やワークシートの記述内容から、「問題に対する自分の現状を考え、問題意識をもって考え、表現しているか」を評価する。

- 生活習慣振り返りチェック（キラリチェック）を改めて確認させ、9月の自分の生活を振り返るように促す。
- 目標が決められない生徒には、生活習慣振り返りチェック（キラリチェック）を一緒に確認し、課題がどこか確認できるようにする。
- 同じグループの生徒の目標を聞いて、参考になるものがあれば、自分の目標に加除修正してもよいことを助言する。
- がんの予防について自分に合った具体的な目標を決められたことを賞賛し、今の生活が将来のがん予防に繋がることを伝える。

<振り返り>

- S：バランスのよい食事を心がけることが大切なので、苦手な野菜もできるだけ食べようと思った。
- S：睡眠時間をしっかり確保することが大切なので、休日前でも夜更かしせずに10時には寝ようと思った。
- S：適度な運動を心がけることが大切なので、家庭でもできるトレーニングを考えて取り組もうと思った。

4 成果と課題

(1) 成果

医師による講演会、食についての指導、生活習慣振り返りチェック、保健体育科授業等と関連させて本時の授業に取り組んだ。授業のワークシートや授業後の感想の記述、生活習慣振り返りチェックの結果などから、生徒のがんに対する意識の向上や、自己の生活習慣を見直すため、よりよい意志決定と行動選択を促し、将来のがん等の生活習慣病を予防する生活へとつながる態度が育成されてきている。また、自己のみならず家族や自分の周りの人に対するがん予防についての意識も育成されてきている。


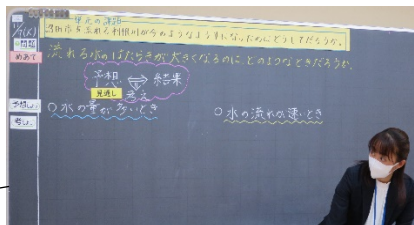
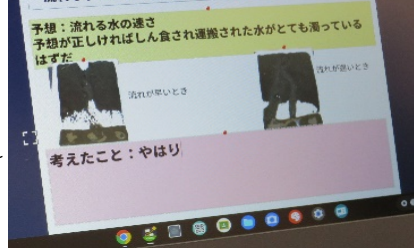
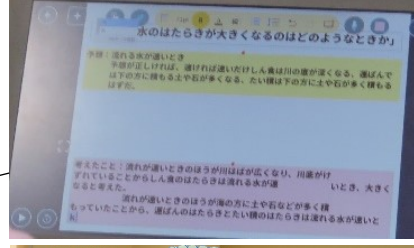
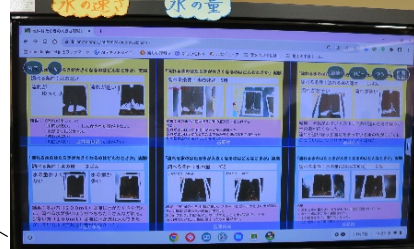


(2) 課題

多くは成人が罹患する生活習慣病としての「がん」について、中学生が自分事として考えられるような教材、指導の工夫をする必要がある。また、小学校から中学校、高等学校へと系統立てて学ばせるために、校種によってどのような内容の学習が必要か、目安のようなものがあると指導がしやすいと感じる。

Ⅲ 『各教科等授業改善プロジェクト』

令和5年度授業改善推進校 : 沼田市立沼田小学校

< 授 業 記 録 >

教師の発問・児童の反応	学習の様子
<p>1 本時の問題を確認するとともに、前時の結果を振り返る。 (14:10)</p> <p>T: 皆さんこの単元を通して何を解決しようとしていましたか。 S: 沼田市を流れる利根川が今のような様子になったのはどうしてだろうか。(単元の課題を再確認)</p> <p>T: これを解決するためにこれまでの学習で何をしてきましたか。 S: 流れる水の働きを調べました。 S: 侵食・運搬・堆積の働きがありました。 S: 流れる水の働きが大きくなる時が関係していると考えました。 T: では、どんな「問題」で学習を進めてきましたか。</p> <p><問題> 流れる水の働きが大きくなるのは、どのようなときだろうか。</p>	 
<p>2 結果を基に個人で考察する。(14:13)</p> <p>T: この問題を解決するためにどこまで学習が終わっていますか。 S: 予想して、実験まで終わりました。 T: どんな予想を立てて、実験しましたか。 S1: 水の量が多いとき。 S2: 水の流れが速いとき。(教師板書)</p> <p>T: 班ごとに予想を立てて実験しましたね。タブレットを開いて、自分の予想と見通しをもう一度確認してみましょう。 S: 水の流れが速いときと予想して、予想が正しければ、下の所で堆積が多くなるはずだと考え、下に溜まる土の高さを見ます。 T: 全員それぞれ見通しをもって実験しましたよね。では、今日は何をしますか。 S: 結論を考えてまとめます。 T: 今日は実験結果を基に、予想と結果を照らし合わせながら考察をまとめ、結論をタブレットに入力してください。根拠にしたい写真や説明も入れてみましょう。<u>各班の実験結果は共有してあるので自由に見られます。</u>カードの色が黄色なのは水の速さ、水色なのは水の量を変えて実験をした班です。<u>余裕があれば他の班の結果を見て、比べてみましょう。</u> (結果を基に結論を入力、他の班の結果を参照する児童もいる)</p> <p>.....</p>	  
<p>3 班で議論を行い、考察を検討する。(14:22)</p> <p>T: 班で考察について話し合ってください。班の中で予想は同じでも、見通しはそれぞれ違いますね。<u>自分と違う見通しをもった人と比べながら話し合しましょう。</u></p> <p>S1: 予想が正しければ、堆積が大きくなる。考えたことは、水の速さで石により、川の底が削られていて、予想は合っていた。 S2: 予想が正しければ、流れが速いほど深く削られる。考えたことは、流れが速いほど、侵食が大きいので川幅が広がる。 T: 自分と違う考えが正しいのかどうか班で話し合ってみましょう。 S: 言葉が違っているだけで、合っているんじゃないかな。タブレットで考察を見せ合おう。違う考えのところもあるね。文字の色を変えて考えを付け足そう。</p> <p>.....</p>	 

4 学級全体で、考察を検討する。(14:41)

T: 班で交流してまとめた考察を発表してください。

S: 堆積の働きが、下で大きく働いたと思う。水の量が多いと、トレイの底が見えなくなった。(発表者の結果写真を全体に示す)

T: 違う見通しで実験した人、水の速さで実験した人も納得しますか。

S: 水の量が少ないと川幅が少ししか削れない。水の量が多いと侵食の働きが大きい。川下が茶色なので、運搬も大きい。

T: 運搬の働きが大きくなった理由に、川幅が大きく削られたことと、川下が茶色になったことの2つがあったけど、2つとも理由としていいですか。そこについて、班で話し合ってみましょう。

S1: 川幅が広がったのは、侵食の働きかな。

S2: 削られる量が多ければ、運ばれる量も多くなると考えられるね。

T: 水の量が増えると、3つの働きが大きくなるということですね。それでは、流れる水の速さについてはどうでしょうか。

S: 水の流れが速いと、川の真ん中が大きく削られていたから、予想が正しかった。

T: (発表者の結果写真を全体に示しながら) 水の量で調べた班の人もこの考察でいいですか。

S: 水の流れが速いと、海の方にたくさん土や石がたまっていたので、運搬、堆積が大きいと考えた。

T: 水の量で調べた他の班の人もこの考察でいいですか。

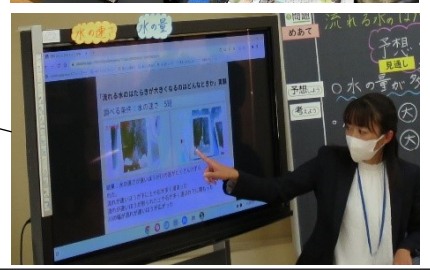
S: (納得してうなづく)

「流れる水のはたらきが大きくなるのはどのようなときか」

予想: 水の速さが速いとき
予想が正しければ、けずるはらきが川の真ん中の底らへんをけずるはずだ。

流れがおそい 流れが速い

考えたこと: 流れがはやいと川の真ん中が大きくけずれいった。土がけずれて土がたくさんながれた。つちがけずれて土の道が広がった。
「だから予想がたしかだった。」



5 本時の結論を導き、振り返りをする。(14:48)

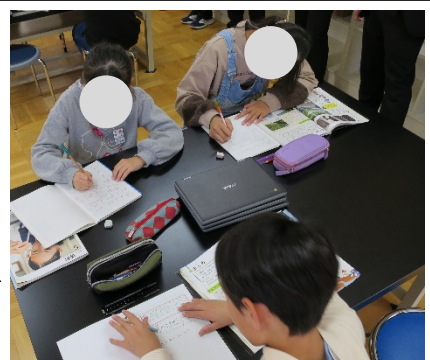
T: つまり、「(問題) 流れる水の働きが大きくなるのは、どのようなときだろうか」の答えはどうなりますか。

S: 水の量が多いときと、水の流れが速いときです。

T: 量と流れの両方とも答えとしていいですか。

S1: 両方ともいいと思う。だって同じだよ。3つとも根拠があって大きくなることが証明されている。

S2: 結果がどちらも同じだから両方ともいいと思う。



<結論>
・流れる水の働きが大きくなるのは、流れる水の量が多いときや水の流れが速いときである。

T: すごいね。問題の答えを自分たちで見付けられたね。こういうときは自然の中にもありますか。

S: 大雨が降ったとき。台風がきたとき。

T: こういうときに、流れる水の働きが大きくなるんだね。今日の振り返りをしてください。単なる感想ではなく、自分の学び方、友達の考えから学んだこと、今後に生かしたいことを振り返ってください。



<児童の振り返り>

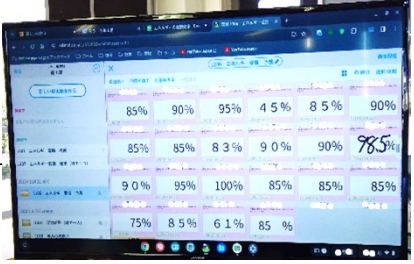
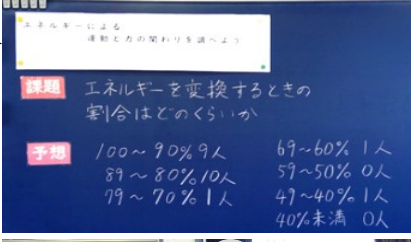

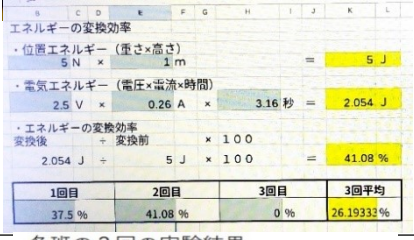

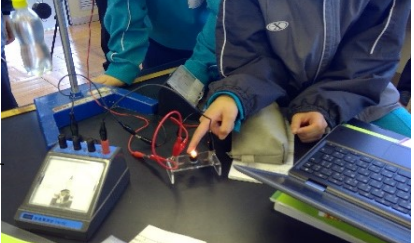
わたしは、流れる水の速さが速いときは、しん食のはたらきが大きくなったと考えました。でもそれだけでなく、運はんのはたらきとたい積のはたらきも友達の考えを聞いてたが大きくなったなと思いました。	私はささいに流れる水の量が多いときに流れる水のはたらきが大きくなると思、たいてい、友達の考えを聞いて、どちらにも、たい積・しん食・運はんがあると考えが変りました!	わたしは、学ぶ前、人が今の利根川を作ったと思。ていだけれど、利根川が今のようにな。たのは、大雨が台風などで、水が土をけず、たり、運はん、たい積したと分か。たのでよか、たです。
--	---	---

T: 単元の課題「沼田市を流れる利根川が今のような様子になったのはどうしてだろうか。」の解決にかなり近付いてきましたね。

IV 『各教科等授業改善プロジェクト』

令和5年度授業改善推進校 : 沼田市立沼田南中学校

< 授 業 記 録 >

教師の発問・生徒の反応	学習の様子																
<p>1 前時の内容を振り返り、本時の課題をつかむとともに、予想を確認する。(14:10)</p> <p>T: 前時は、エネルギーの変換に注目し、位置エネルギーから電気エネルギーに変換するときの割合を個人で予想しました。その割合はどれくらいと予想しましたか。</p> <p>S: 100~90%が9人・・・(教師板書) (前時まで確認: 予想の根拠は、理科・技術等の学習経験等)</p> <p>T: 80%以上が多いね。では、実際はどうなるのでしょうか。</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><課題> エネルギーを別のエネルギーに変換するとき、変換できるエネルギーの割合はどのくらいか。</p> </div> <p>T: それでは始める前に実験計画の確認をします・・・ (安全面: 回路のつながり方、実験方法の確認等) (指導面: 班での役割、目盛りの読み方、実験回数の確認等)</p>	 																
<p>2 実験を行い、変換効率を求め、結果を整理する。(14:14)</p> <p>S1: 電圧計の一端子は、大きい方から試すのだよね。</p> <p>S2: 電流計は、200mAまで針が振れたなら0.2Aと読めばよいね。</p> <p>S3: 準備完了!ではペットボトルを落とすよ。</p> <p>S4: ペットボトルが1m落下するのに2.9秒かかった。</p> <p>S1: 電圧の最大値は2.7V、電流は0.25Aかな。</p> <p>S3: 計算すると変換効率は約37.5%だ。思ったより少ないね。</p> <p>S2: 2回目の変換効率は約41%だ。少し増えたけど少ないね。</p> <p>(3回目も実験)</p> <p>T: 実験できたら結果を提出してください。(学習支援ソフトで提出)</p> <p>T: 実験が終わったら、他の班の結果も見比べてみましょう。 (学習支援ソフトで他の班の実験結果を閲覧して確認)</p> <p>S: 他の班の変換の割合も少ないから、実験はうまくいったかな。</p>	  <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>各班の3回の実験結果</caption> <thead> <tr> <th>班</th> <th>変換効率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1班</td><td>39.1%</td></tr> <tr><td>2班</td><td>36.0%</td></tr> <tr><td>3班</td><td>34.4%</td></tr> <tr><td>4班</td><td>35.7%</td></tr> <tr><td>5班</td><td>44.0%</td></tr> <tr><td>6班</td><td>45.3%</td></tr> <tr><td>平均</td><td>39.1%</td></tr> </tbody> </table>	班	変換効率 (%)	1班	39.1%	2班	36.0%	3班	34.4%	4班	35.7%	5班	44.0%	6班	45.3%	平均	39.1%
班	変換効率 (%)																
1班	39.1%																
2班	36.0%																
3班	34.4%																
4班	35.7%																
5班	44.0%																
6班	45.3%																
平均	39.1%																
<p>3 結果を基に考察し、全体で検討する。(14:36)</p> <p>T: みなさんの実験結果を確認します。予想と比べてどうでしたか。 (学習支援ソフトで実験結果を一覧にして提示)</p> <p>S: 思ったより少ないね。</p> <p>T: この実験結果から課題に対しての結論として、変換の割合はどれくらいだと言えそうですか。</p> <p>S: 約40%くらいかな。</p> <p>T: 実験結果の差はあるけれど、変換される割合はおよそ40%くらいと言えそうですか。皆さんの予想と比べてどうでしょう。</p> <p>S: 低い。(一同うなずく)</p> <p>T: エネルギーの変換の割合は、皆さんの予想の約半分くらいでしたね。なぜ、こんなにも変換できるエネルギーの割合が低かったのですか。 (歯車が回転する音が響き、再実験が始まる)</p> <p>S1: はじめに位置エネルギーを5Jもっていて、それが落下して運動エネルギーに変換されたはずだね。</p> <p>S2: ほら、豆電球がすごく光って、少しあたたかいよ。だから光エネルギーや熱エネルギーに変換されたのではないかな。</p> <p>S3: でも豆電球は、電気エネルギーに変換されたあとだから関係ないんじゃないかな。</p>	 																

S1: 歯車が回転するときに揺れながら回っているから、歯車を回転させる運動エネルギーにも使われたのかな。

(再びペットボトルを落下させ、上からプーリーをのぞきこむ) ←

S4: ひものところが摩擦で熱くなるから、豆電球のところではなくて、ひもの摩擦による熱エネルギーがありそうだよね。

S1: オイルとか塗ると滑らかに動くかな。

S2: あっ! じゃあ、音エネルギーもありそうだよね。

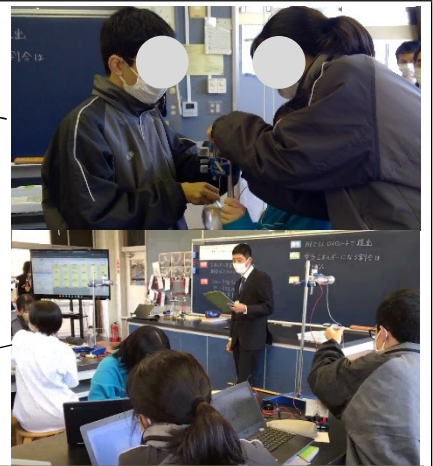
T: 一度みんなでここまでの考えを書いて提出してください。

.....

(各自学習支援ソフトに提出)

T: ここまでに分かったことを整理してみましょう。 ←

(学習支援ソフトで考察の一覧を提示)



位置エネルギーから電気エネルギーに変換する際、変換効率が約4割になるわけは運動エネルギーである音エネルギーと熱エネルギーが発生していると考えられるから。

位置エネルギーから電気エネルギーへと変換される間に運動エネルギーである音エネルギーと摩擦によって熱エネルギーが発生したため、電気エネルギーへの変換の量は少なくなったと言える。

位置エネルギーは電気エネルギーだけでなく、紐による摩擦でなる熱エネルギーにも変換される。変換された電気エネルギーは豆電球のところで光エネルギーと熱エネルギーに変換される。だから電気エネルギーは4割位になる。

T: 変換効率が低かった原因として、豆電球の光や熱のエネルギーが関係しているという考えが多くありますが、どう思いますか。 ←

S: 豆電球の光や熱は、電気エネルギーに変換されたあと光エネルギーと熱エネルギーに変換されたので、考えなくてよいと思います。

T: では、他にはどのようなエネルギーが関係していたと考えられますか。

S1: ひもやモーターを動かすなどの運動エネルギーに使われた。

S2: ひもの摩擦で熱エネルギーに使われた。

S3: あと、歯車が回るときに音のエネルギーになった。

T: なるほど。これらの意見については、皆さんどう思いますか。

(ひもを引っ張り、ウィーンと音が出る)

(ひもを動かして触ってみるなどして、うなづく)



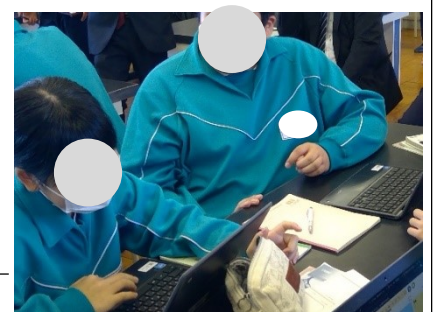
4 本時の結論を導き、振り返りをする。(14:55)

T: 変換できるエネルギーの割合が低かった原因は何だったのですか。

S: 位置エネルギーを電気エネルギーに変換するとき、電気エネルギー以外のエネルギーにも変換されたから減ってしまったと思います。

T: なるほど。いろいろなエネルギーに変換されてしまっていたのですね。では、今日の学習を振り返ってみましょう。

(各自が学習支援ソフトに記入した振り返りを聞いたり、見たりして納得している) ←



<生徒の振り返り>

・予想以上に電気エネルギーに変換するときの割合が低いことに驚いた。〇〇さんの考察を聞いて、電気エネルギー以外に音エネルギーや熱エネルギーなどいろいろなエネルギーに変換されてしまうことに気付いた。歯車の素材を変えれば変換の割合を高くできるかもしれないと思った。

T: 歯車の素材を変えて、音エネルギーや運動エネルギーに変換されてしまうエネルギーを小さくできれば、もっと効率よく変換できそうですね。それは普段の生活にも生かせるかもしれないですね。

